

VP1420/VP1421

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書はATEN ジャパン株式会社において、VP1420/VP1421 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2020年6月2日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC に関する情報.....	5
RoHS.....	5
安全にお使い頂くために.....	6
全般	6
ラックマウント	8
同梱品.....	9
VP1420	9
VP1421	9
VPK104.....	9
本マニュアルについて.....	11
マニュアル表記について.....	12
第1章 はじめに.....	13
概要.....	13
特長.....	14
VP1420	14
VP1421	16
セットアップの計画.....	18
システム要件	18
オプション品.....	18
第2章 セットアップ方法.....	20
製品各部名称	20
VP1420	20
VP1421	22
IR リモコン	25
VPK104.....	26
マウント方法.....	28
ラックマウント	28
アンダーデスクマウント	29

セットアップ方法.....	30
VP1420	30
VP1421	32
VPK104.....	35
第3章 ローカル操作	37
概要.....	37
操作上の注意点	37
ソースの切替.....	37
表示モード	38
表示モードとは	38
設定	38
オーディオ設定	39
フロントパネルのロック	40
電源 LED の表示	41
第4章 リモート操作.....	43
概要.....	43
ネットワークとログインのデフォルト設定	43
対応 Web ブラウザ	44
Web コンソールへのログイン	45
メイン画面.....	46
全般設定.....	47
オーディオ&ビデオ設定.....	49
オーディオ制御.....	49
ビデオ制御	52
システム設定.....	54
メンテナンス	54
ネットワーク設定.....	56
第5章 CLI コマンド	57
概要.....	57
Telnet 経由での接続	57
RS-232 経由での接続	58
コマンド構文	59
コマンド一覧	60
ポート番号	60
cec	60
displaymode.....	61

echo	61
edid	62
mute	62
power	63
read	63
reset	64
scaling	64
standby	64
sw	65
swmode	65
volume	66
第 6 章 ビデオプレゼン制御アプリ	67
概要	67
対応システム	67
iOS 版	68
メイン画面	68
コントロールパネルへのログイン	70
会議からの退室	75
スタンバイモードの有効化	76
ファームウェアバージョンの確認	77
ビデオパネル	78
ディスプレイに対するソースの切替	78
ディスプレイ A の設定	79
ディスプレイ B の設定	81
オーディオパネル	82
VP1420 のオーディオ出力設定	82
VP1421 のオーディオ出力設定	82
VP1420 のオーディオ入力設定	84
VP1421 のオーディオ入力設定	85
Android 版	89
メイン画面	89
コントロールパネルへのログイン	91
会議からの退室	97
スタンバイモードの有効化	98
ファームウェアバージョンの確認	99
ビデオパネル	100

ディスプレイに対するソースの切替	100
ディスプレイ A の設定	101
ディスプレイ B の設定	102
オーディオパネル.....	104
VP1420 のオーディオ出力設定.....	104
VP1421 のオーディオ出力設定.....	104
VP1420 のオーディオ入力設定.....	106
VP1421 のオーディオ入力設定.....	107
付録.....	111
製品仕様.....	111
VP1420	111
VP1421	113

EMC に関する情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。

1. 本製品による有害な干渉が発生しない。
2. 本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

提案:FCC および CE 規格を確実に順守するために、STP ケーブルを使用するようにしてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせ適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には

何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 本製品をスタッキングする場合、ラックにロックする場合、フレームにネジ止めする場合やその他類似の方法で設置を行う場合には、製品を確実に固定するための安全装置が追加で必要になることがあります。
- ◆ 本製品は固定させて使用するよう設計されているため、通常の動作中には動かさないようにしてください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

VP1420/VP1421 の製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

VP1420

- ◆ VP1420 4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャー (4K60p 対応) ×1
- ◆ VPK104 ×1
- ◆ IR レシーバー ×1
- ◆ IR リモコン ×1
- ◆ 3 極ターミナルブロック ×2
- ◆ 5 極ターミナルブロック ×2
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

VP1421

- ◆ VP1421 4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャー (4K60p、スケーリング、DSP、HDBaseT-Lite 対応) ×1
- ◆ VPK104 ×1
- ◆ IR レシーバー ×1
- ◆ IR リモコン ×1
- ◆ 3 極ターミナルブロック ×4
- ◆ 5 極ターミナルブロック ×2
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

VPK104

- ◆ VPK104 4 ボタン接点リモートパッド ×1
- ◆ 4 極ターミナルブロック ×4
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合は

お買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャーおよびリモートパッドについて説明したものです。本マニュアルでは、次の製品の取り付け・セットアップ方法、操作方法にまつわる、すべての情報を提供します。

デバイスの種類	型番	説明
プレゼンマトリックス スイッチャー	VP1420	4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャー (4K60p 対応)
	VP1421	4 入力 2 出力プレゼンマトリックススイッチャー (4K60p、スケーリング、DSP、HDBaseT-Lite 対応)
リモートパッド	VPK104	4 ボタン接点リモートパッド

第1章 はじめに: VP1420/VP1421 を紹介します。特長、機能概要、およびセットアップ計画時に注意すべき点について説明します。

第2章 セットアップ方法: VP1420/VP1421 および付属の IR リモコンの製品各部名称と、製品本体を安全かつ手早くセットアップする方法について説明します。

第3章 ローカル操作: システム設定の操作やアクセスを、製品本体のプッシュボタンや IR リモコンを使ってローカル側から行う方法について説明します。

第4章 リモート操作: リモート管理や管理タスクを Web インターフェース経由で行う方法について詳しく説明します。

第5章 CLI コマンド: シリアルコントローラーを使って VP1420/VP1421 を制御する際に使用できる機能および RS-232 コマンドについて詳しく説明します。

第6章 ビデオプレゼン制御アプリ: ATEN ビデオプレゼン制御アプリを使ってシステム設定をリモートから行う方法について詳しく説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

VP1420/VP1421 は、ビデオマトリックススイッチャーの機能に、True 4K スケーラー、アナログ→デジタルコンバーター、オーディオプロセッサー (VP1420)、HDBaseT エクステンダー (VP1421)、およびオーディオ DSP (VP1421) の各機能を1台のコンパクトなボディに統合した多機能プレゼンスイッチャーです。4 系統のアナログ/デジタル入力から任意に選択した信号を、2 系統の 4K60p 信号として出力できる VP1420 と、1 系統の HDBaseT 信号および 1 系統の HDMI 4K60p 信号として出力できる VP1421 は、それぞれビジネスシーンにおけるプレゼンの効率化と与える印象の強化を目的として開発されました。

操作はフロントパネルのプッシュボタン、IR リモコン、RS-232、イーサネット経由での Web GUI から用途に応じてお選びいただけますので、システムデバイスの数を抑えられるだけでなく、操作の複雑さを解消することも可能です。本製品は、中小企業や教育現場でのプレゼン環境への導入に適しており、ミーティングルーム、教室、トレーニングルームでお使いいただけます。また、これ以外のシーンでも、展示会やホテルなどプレゼンが必要とされる環境でご活用いただけます。

特長

VP1420

アナログ/デジタル AV をマトリックス切替

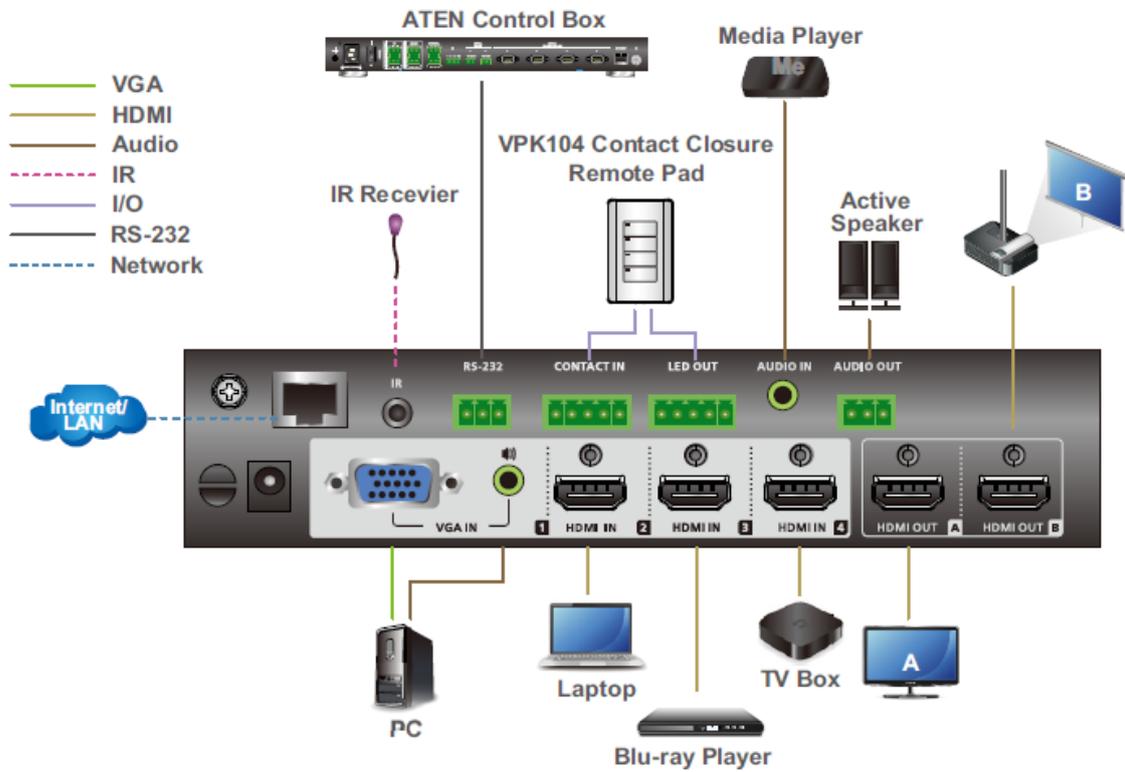
- ◆ 4 系統のマルチフォーマット入力に対応 - 3 系統の HDMI 入力と 1 系統の VGA 入力
- ◆ 2 系統の HDMI 出力
- ◆ オーディオ・エンベデッド機能 - ステレオオーディオは、HDMI 出力へのエンベデッドやステレオライン出力への分離が可能
- ◆ オーディオ・ディエンベデッド機能 - HDMI オーディオからステレオライン出力への抽出が可能
- ◆ 自動切替機能 - 新しいソースが接続されると自動的に認識し切替を実行

HD ビデオを最適に出力

- ◆ 最大解像度 4K60p - HDMI: 4096 × 2160@60Hz (4:4:4)
- ◆ 4K HDR 対応
- ◆ スケーラー機能 - アップスケールされたビデオ (最大 4K) はディスプレイ A に、ダウンスケールされたビデオ (最大 1080p) はディスプレイ B にそれぞれ表示
- ◆ EDID エキスパート (エミュレーション機能) - 自動/手動で適切な EDID モードを選択可能
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K)、HDCP 2.2 準拠

多様で無駄のない操作性

- ◆ 複数の操作オプションを提供 - フロントパネルのプッシュボタン、IR リモコン、RS-232、インターネット経由での Web GUI 操作
- ◆ ビデオマトリックススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ スタンバイモード対応により省電力と高速起動を実現
- ◆ CEC 対応
- ◆ VPK104 (4 ボタン接点リモートパッド) を併用してボタンによるリモート制御が可能



VP1421

アナログ/デジタル AV をマトリックス切替

- ◆ 4 系統のマルチフォーマット入力に対応 - 2 系統の HDMI 入力、1 系統の HDBaseT Lite 入力、および 1 系統の VGA 入力
- ◆ 1 系統の HDMI 出力と 1 系統の HDBaseT Lite 出力
- ◆ オーディオ・エンベデッド機能 - ステレオオーディオは、ディスプレイ出力へのエンベデッドまたはステレオおよび光オーディオ出力への分離が可能
- ◆ オーディオ・ディエンベデッド機能 - HDMI/HDBaseT オーディオからステレオライン出力への抽出が可能
- ◆ オーディオ DSP 搭載 - 選択可能な 48V ファンタム電源のマイク入力に対応。また、マイク入力をプログラムオーディオとミキシングし、ディスプレイ出力にエンベデッド可能
- ◆ マイク信号の検出時にはプログラムオーディオを自動的にボリュームダウン
- ◆ 自動切替機能 - 新しいソースが接続されると自動的に認識し切替を実行

HD ビデオを最適に出力

- ◆ 最大解像度 4K60p - HDMI: 4096 × 2160@60Hz (4:4:4) / HDBaseT: 4096 × 2160@60Hz (4:2:0)
- ◆ 4K HDR 対応
- ◆ スケーラー機能 - アップスケールされたビデオ (最大 4K) はディスプレイ A に、ダウンスケールされたビデオ (最大 1080p) はディスプレイ B にそれぞれ表示
- ◆ EDID エキスパート (エミュレーション機能) - 自動/手動で適切な EDID モードを選択可能
- ◆ HDMI (3D、Deep Color、4K)、HDCP 2.2 準拠

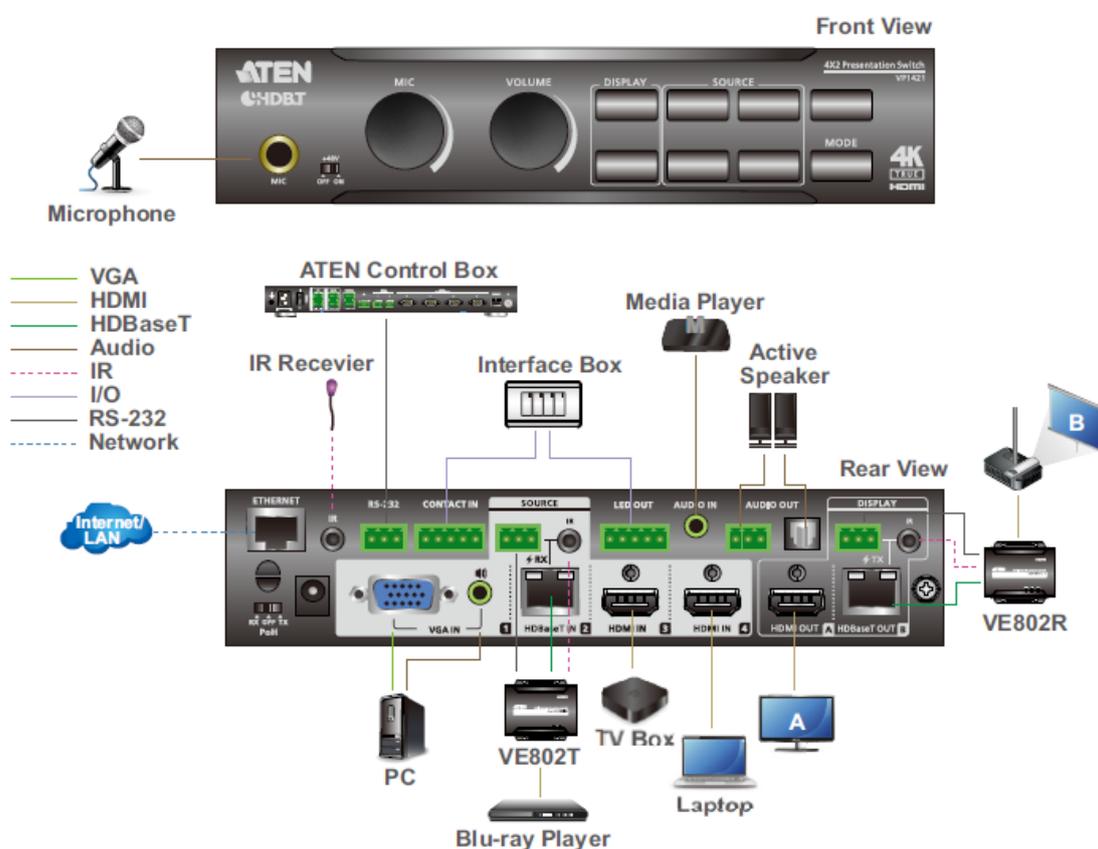
多様で無駄のない操作性

- ◆ 複数の操作オプションを提供 - フロントパネルのプッシュボタン、IR リモコン、RS-232、インターネット経由での Web GUI 操作
- ◆ ビデオマトリックススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ 双方向 RS-232 および IR チャネル - 追加ケーブルなしで HDBaseT 接続を介して A/V 機器を制御
- ◆ スタンバイモード対応により省電力と高速起動を実現
- ◆ CEC 対応
- ◆ VPK104 (4 ボタン接点リモートパッド) を併用してボタンによるリモート制御が可能

ケーブル 1 本による信号延長

- ◆ 長距離伝送 - デジタル A/V 信号、双方向 RS-232 および IR 制御信号を、Cat 6/6a ケーブルまたは ATEN 製 Cat 6 ケーブル 2L-2910 を使って最大 140m^{*1} 延長
- ◆ Power over HDBaseT (PoH) 対応 - 既存の通信ケーブルを介して、選択可能な給電デバイスで長距離給電が可能

注意: 1. 製品本体の HDBaseT 入力と HDBaseT 出力の各ポートを使用した場合に対応可能。このとき、入力機器～VP1421 および VP1421～出力機器への各距離は、それぞれ最大 70m となります。(HDBaseT ClassA 製品をつなげても 70m です)



セットアップの計画

システム要件

VP1420/VP1421 をセットアップする前に、下記のハードウェアをご用意ください。

VP1420

- ◆ HDMI ポートを搭載した入力機器(最大 3 台)および VGA ポートを搭載した入力機器(最大 1 台)
- ◆ HDMI ポートを搭載したディスプレイ(最大 2 台)

VP1421

- ◆ HDMI ポートを搭載した入力機器(最大 2 台)、HDBaseT ポートを搭載した入力機器(1 台)および VGA ポートを搭載した入力機器(1 台)
- ◆ HDMI ポートを搭載したディスプレイと HDBaseT ポートを搭載したディスプレイまたはレシーバーを各 1 台

オプション品

必要に応じて、下記のハードウェアをご用意ください。

VP1420

- ◆ メディアプレイヤー 1 台
- ◆ アクティブスピーカー 1 台
- ◆ Web コンソール経由のリモート管理用に VP1420 をネットワークスイッチに接続するイーサネットケーブル 1 本
- ◆ RS-232 または Telnet に対応した、ホストコンピューター、ATEN コントローラー、またはサードパーティーのコントロールシステム 1 台
- ◆ ATEN 4 ボタン接点リモートパッド VPK104 1 台
- ◆ マウント用キット
 - ラックマウントキット
 - アンダーデスクマウントキット

VP1421

- ◆ マイク 1 台
- ◆ メディアプレイヤー 1 台
- ◆ アクティブスピーカー 1 台
- ◆ 信号延長用に HDBaseT ポートを搭載したビデオトランスミッターおよびレシーバー 各 1 台
- ◆ Web コンソール経由のリモート管理用に VP1421 をネットワークスイッチに接続するイーサネットケーブル 1 本
- ◆ RS-232 または Telnet に対応した、ホストコンピューター、ATEN コントローラー、またはサードパーティーのコントロールシステム 1 台
- ◆ ATEN VPK104(4 ボタン接点リモートパッド) 1 台
- ◆ マウント用キット
 - ラックマウントキット
 - アンダーデスクマウントキット

第2章 セットアップ方法

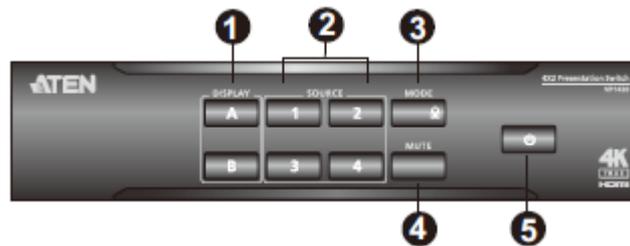


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 必要なハードウェアがすべて正しく接続されていることを確認してから、VP1420/VP1421 の製品本体に電源を入れるようにしてください。

製品各部名称

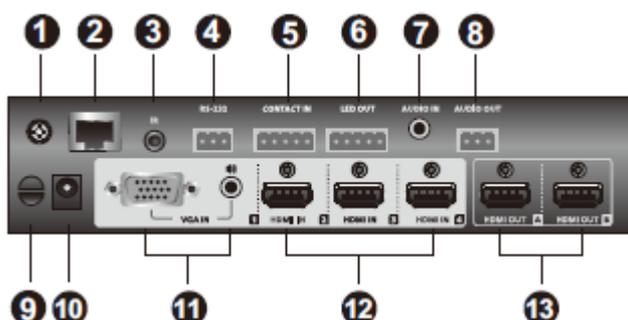
VP1420

フロントパネル



No.	名称	説明
1	表示選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。選択されているディスプレイのボタンはオレンジに点灯します。
2	ソース選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、選択されたディスプレイに対してソースを指定します。選択されているソースのボタンはグリーンに点灯します。
3	モード プッシュボタン	◆ 1回押すと、現在のモード設定を表示します。 ◆ 2回押すと、マトリックスモードとミラーモードを切り替えます。
4	ミュート プッシュボタン	このボタンを押すと、すべてのディスプレイとスピーカーをミュート(消音状態)にします。
5	電源 プッシュボタン	VP1420 の電源 ON とスタンバイモードを切り替えます。詳細は p.41 「電源 LED の表示」を参照してください。

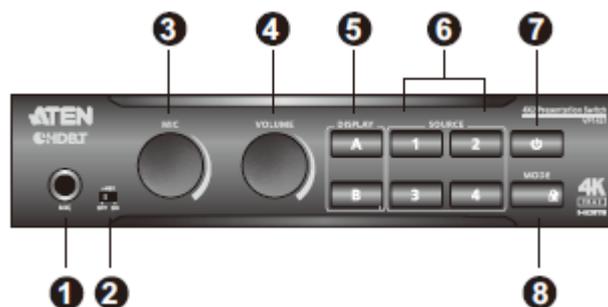
リアパネル



No.	名称	説明
1	グラウンドターミナル	電圧変化や静電気による機器の破損を防ぐために、このポートを使って製品本体を接地します。
2	イーサネットポート	Web コンソール経由でリモート操作を行えるよう、イーサネットケーブルを使ってネットワークスイッチに接続します。
3	IR レシーバーポート	IR レシーバーに接続し、IR リモコンからの IR 信号を受信します。
4	RS-232 シリアルポート	ハードウェアまたはソフトウェアコントローラーを接続して、シリアルデータを伝送します。
5	接点入力	VPK104 の CONTACT IN に接続します。
6	LED 出力	VPK104 の LED OUT に接続します。
7	オーディオ入力ポート	オーディオソースから出力された信号を受信します。
8	オーディオ出力ポート	アクティブスピーカーに接続します。
9	ケーブルタイスロット	結束バンドで電源アダプターを固定するために確保されています。
10	電源ジャック	VP1420 に電源アダプターを接続します。
11	ソース 1	VGA ソースとステレオオーディオソースを各 1 台接続します。
12	ソース 2、3、4	HDMI ケーブルで HDMI ソースデバイスを接続します。
13	HDMI 出力	HDMI ポートを搭載したディスプレイを接続します。

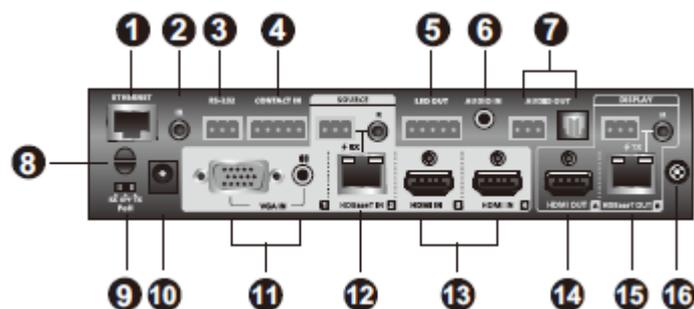
VP1421

フロントパネル



No.	名称	説明
1	マイク入力ポート	マイクを接続します。
2	ファンタム電源 スイッチ	コンデンサーマイクへのファンタム電源の供給を、有効または無効にします。
3	マイクボリューム 調節	ツマミを使ってマイクのボリュームを調節します。
4	全体ボリューム 調節	ツマミを使ってオーディオ出力すべてのボリュームを調節します。
5	表示選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。選択されているディスプレイのボタンはオレンジに点灯します。
6	ソース選択 プッシュボタン	このボタンを押すと、選択されたディスプレイに対してソースを指定します。選択されているソースのボタンはグリーンに点灯します。
7	電源 プッシュボタン	VP1421 の電源 ON とスタンバイモードを切り替えます。 詳細は p.41「電源 LED の表示」を参照してください。
8	モード プッシュボタン	◆ 1 回押すと、現在のモード設定を表示します。 ◆ 2 回押すと、マトリックスモードとミラーモードを切り替えます。

リアパネル



No.	名称	説明
1	イーサネットポート	Web コンソール経由でリモート操作を行えるよう、イーサネットケーブルを使ってネットワークスイッチに接続します。
2	IR レシーバーポート	IR レシーバーに接続し、IR リモコンからの IR 信号を受信します。
3	RS-232 シリアルポート	ハードウェアまたはソフトウェアコントローラーを接続して、シリアルデータを伝送します。
4	接点入力	VPK104 の CONTACT に接続します。
5	LED 出力	VPK104 の LED OUT に接続します。
6	オーディオ入力ポート	オーディオソースから出力された信号を受信します。
7	オーディオ出力ポート	アクティブスピーカーに接続します。
8	ケーブルタイスロット	結束バンドで電源アダプターを固定するために確保されています。
9	PoH 制御スイッチ	VP1421 に接続されたトランスミッターまたはレシーバーに対して、イーサネットケーブル経由でデータ信号と共に電源の信号を伝送するかどうかを制御します。
10	電源ジャック	VP1421 に電源アダプターを接続します。
11	ソース 1	VGA ソースとステレオオーディオソースを各 1 台接続します。
12	ソース 2	HDMI ポートを搭載したトランスミッター経由で、離れた場所にあるソースデバイスへと接続します。
13	ソース 3、4	HDMI ケーブルで HDMI ソースデバイスを接続します。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
14	出力/ディスプレイ A	HDMI ポートを搭載したディスプレイを接続します。
15	出力/ディスプレイ B	離れた場所にあるディスプレイに接続されたレシーバーへと接続します。
16	グラントーミナル	電圧変化や静電気による機器の破損を防ぐために、このポートを使って製品本体を接地します。

IRリモコン

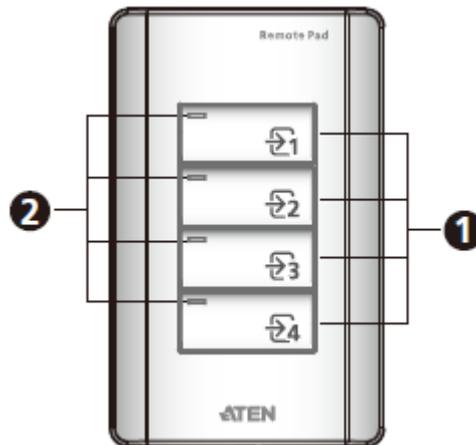
VP1420/VP1421 を IRリモコンで操作するには、製品パッケージに同梱されている IR レシーバーを、製品本体のリアパネルにある IR レシーバーポートに接続してください。



No.	名称	説明
1	ON/OFF ボタン	VP1420/VP1421 の電源 ON とスタンバイモードを切り替えます。 詳細は p.41「電源 LED の表示」を参照してください。
2	ソースボタン	このボタンを押すと、接続されたディスプレイに対してソースを選択します。
3	表示ボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。
4	ミュートボタン	このボタンを押すと、すべてのディスプレイとスピーカーをミュート(消音状態)にします。
5	モードボタン	◆ 1 回押すと、現在のモード設定を表示します。 ◆ 2 回押すと、マトリクスモードとミラーモードを切り替えます。

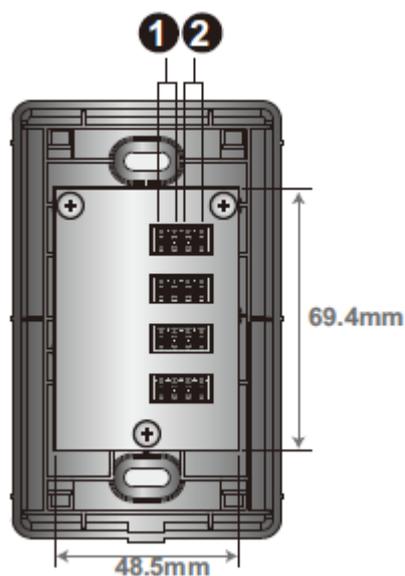
VPK104

フロントパネル



No.	名称	説明
1	ソース選択ボタン	ソース選択ボタンを押すと、ソースを設定ディスプレイ※に表示します。各ボタンの番号は、VP1420/VP1421 のリアパネルにおけるソース番号を表しています。 注意: ※設定ディスプレイは VP1420/VP1421 の Web GUI を使って選択します。
2	状態 LED	ソースが選択されているとグリーンに点灯します。

リアパネル



No.	名称	説明
1	LED 入力ポート	LED 信号を送受信するために VP1420/VP1421 の LED 出力ポートに接続します。
2	接点出力ポート	操作信号を送受信するために VP1420/VP1421 の接点出力ポートに接続します。

サイドパネル



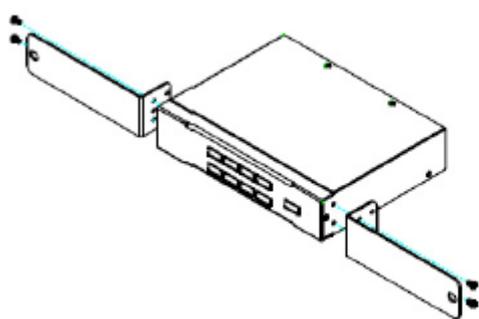
マウント方法

ラックマウント

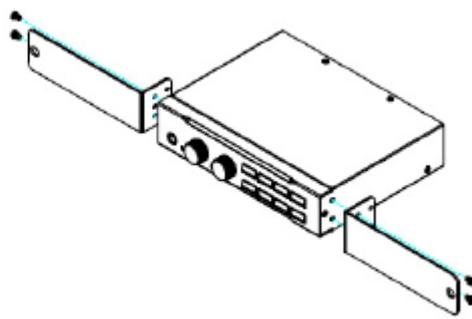
VP1420/VP1421 は 19 インチラックに 1U サイズでマウントできる製品です。ローカル側からフロントパネルのボタンを使って設定や操作が簡単に行えるよう、製品のフロント側がラックのフロント側にくるように製品本体をマウントしてください。

注意: 本体の取り付けに必要となるラックマウントキットは、別売りです(型番:2X-049G)
詳細は、弊社 Web サイトにおける VP1420/VP1421 製品ページをご確認ください。

1. マウントキットに付属している M3 プラスネジを使って、ラックマウント用ブラケットを製品本体のフロント側の側面に取り付けてください。



VP1420



VP1421

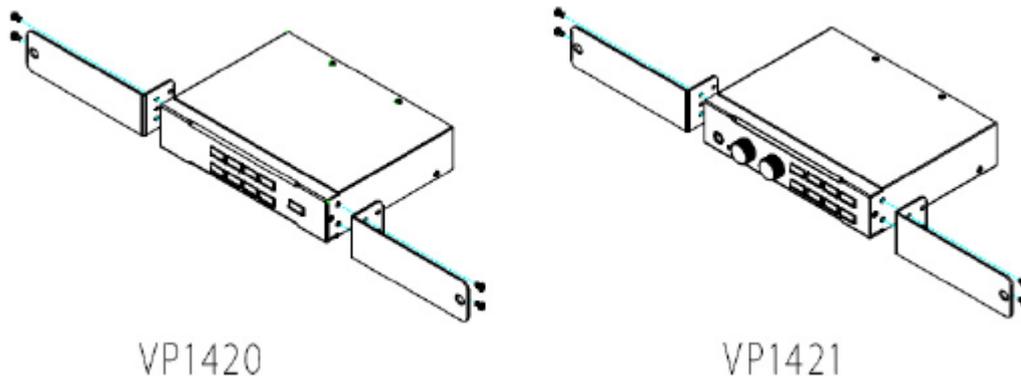
2. ブラケットを取り付けた製品を、ラックのフロント側に移動させ、ブラケットのねじ穴がラックのねじ穴に合うように位置を調節してください。
3. ネジ(同梱品外のため、別途ご用意ください)を使って、ブラケットをラックに固定してください。

アンダーデスクマウント

VP1420/VP1421 は、テーブルの下に取り付けることもできます。ローカル側からフロントパネルのボタンを使って設定や操作が簡単に行えるよう、製品のフロント側が操作しやすい位置に製品本体をマウントしてください。

注意: 本体の取り付けに必要となるラックマウントキットは、別売りです(型番:2X-049G)
詳細は、弊社 Web サイトにおける VP1420/VP1421 製品ページをご確認ください。

1. マウントキットに付属している M3 プラスネジを使って、ラックマウント用ブラケットを製品本体のフロント側の側面に取り付けてください。

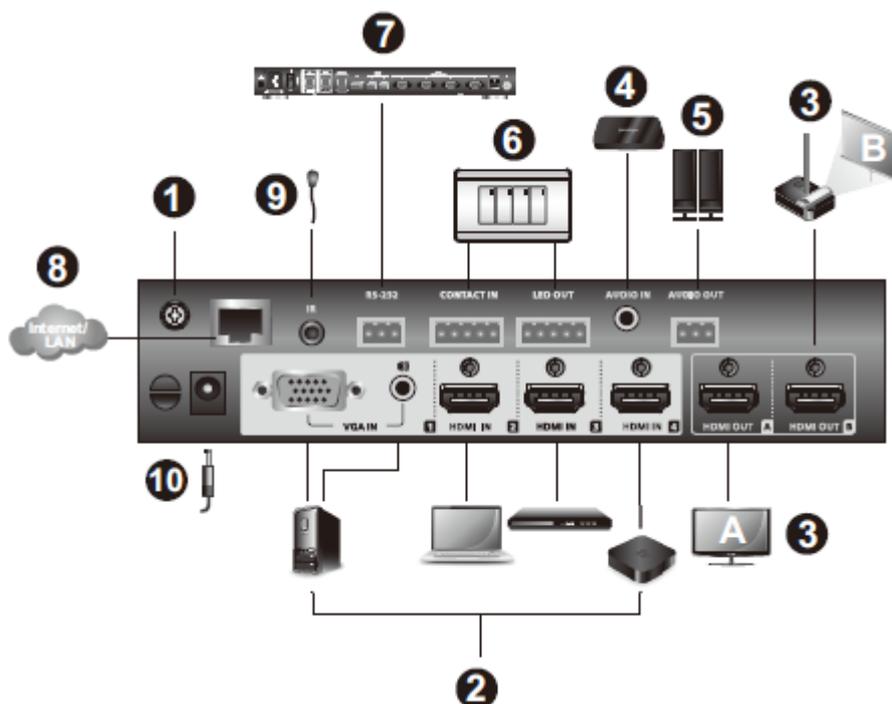


2. テーブルの下で、本体フロントパネルが操作しやすくなるように位置を決めたら、この場所にマウント用ブラケットをネジ止めして製品本体を取り付けてください。

セットアップ方法

VP1420

下記の手順に従って、ソースデバイス、ディスプレイ、または、その他のデバイスを、安全な方法でVP1420に接続し、セットアップ作業を行ってください。



1. 接地線の片方の端を接地ターミナルに、もう片方の端を適切な接地物にそれぞれ接続して、製品本体の接地を行ってください。

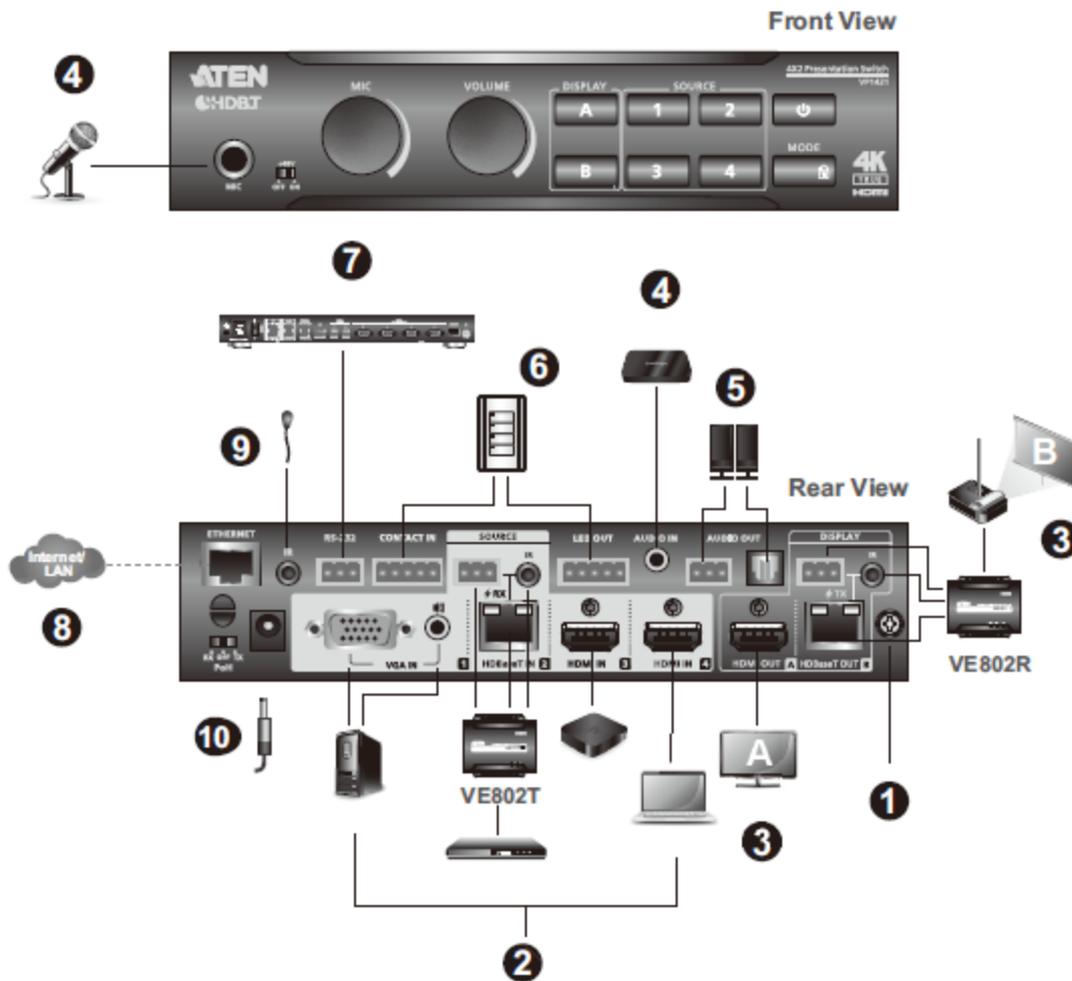
注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. ビデオソースをVP1420/VP1421に接続してください。
 - ◆ VGAソースを接続するには、VGAケーブルを使って、VGA入力ポートに接続してください。また、オーディオソースも同様に、ステレオオーディオケーブルを使って、ステレオオーディオ入力ポートに接続してください。
 - ◆ HDMIソースを接続するには、HDMIケーブルを使って、デバイスをHDMI入力ポートに接続してください。HDMIソースは最大3台まで接続することができます。

3. 製品本体に HDMI ディスプレイ(1 台以上)を接続してください。
4. (オプション)オーディオソースデバイス(メディアプレイヤーなど)を、VP1420 のオーディオ入力ポートに接続してください。
5. (オプション)製品パッケージに同梱されている3極ターミナルブロックを使って、アクティブスピーカーをオーディオ出力ポートに接続してください。
6. (オプション)接点閉止スイッチを使って VP1420 を制御する場合は、製品パッケージに同梱されている 5 極ターミナルブロックを使って、このスイッチを接点入力ポートと LED 出力ポートに接続してください。
7. (オプション)RS-232 シリアルコマンドを使って製品本体の設定を変更する場合は、製品パッケージに同梱されている 3 極ターミナルブロックを使って、製品本体の RS-232 シリアルポートに、ハードウェアコントローラー(ATEN コントロールボックスなど)またはソフトウェアコントローラーを接続してください。
8. (オプション)Web インターフェースにアクセスできるようにするには、製品本体にあるイーサネットポートをイーサネットケーブルでネットワークスイッチに接続してください。
9. (オプション)製品本体を IR リモコンから操作する場合は、製品パッケージに同梱されている IR レシーバーを IR レシーバーポートに接続してください。
10. 電源アダプターを電源ジャックに接続してください。また、電源アダプターのケーブル部分を固定したい場合は、結束バンドでケーブルタイスロットに固定することもできます(オプション)。
11. 電源プッシュボタンで製品本体の電源を ON にしてください。
12. 接続デバイスの電源をすべて ON にしてください。

VP1421

下記の手順に従って、ソースデバイス、ディスプレイ、または、その他のデバイスを、安全な方法でVP1421に接続し、セットアップ作業を行ってください。



1. 接地線の片方の端を接地ターミナルに、もう片方の端を適切な接地物にそれぞれ接続して、製品本体の接地を行ってください。

注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. ビデオソースをVP1420/VP1421に接続してください。
 - ◆ VGAソースを接続するには、VGAケーブルとステレオオーディオケーブルを使って、ソースをソース1ポートに接続してください。

- ◆ 接続するビデオソースの信号を延長する必要がある場合には、VP1421 の HDBaseT 入力ポートとトランスミッターデバイスの HDBaseT 出力ポートを、イーサネットケーブルで接続してください。

注意: 対応ビデオエクステンダーは、弊社 Web サイトにおける VP1421 製品ページにてご確認ください。

- ◆ HDMI ソースを接続するには、HDMI ケーブルを使って、ソースデバイスを VP1421 の HDMI 入力ポートに接続してください。HDMI ソースは最大 2 台まで接続することができます。

注意: VP1421 は双方向 RS-232 と IR パススルーに対応しています。

3. 製品本体にディスプレイを接続してください。

- ◆ HDMI ケーブルを使って、製品本体に HDMI ディスプレイを接続してください。
- ◆ ディスプレイを離れた場所にセットアップする場合は、イーサネットケーブルで VP1421 の HDBaseT 出力ポートを、適切なレシーバーの HDBaseT 入力ポートに接続してください。ディスプレイはこのレシーバーに接続します。

注意: HDBaseT IN 側に給電するなら「Rx」、
HDBaseT OUT 側に給電するなら「Tx」と
PoH 制御スイッチの位置と合わせて下さい。

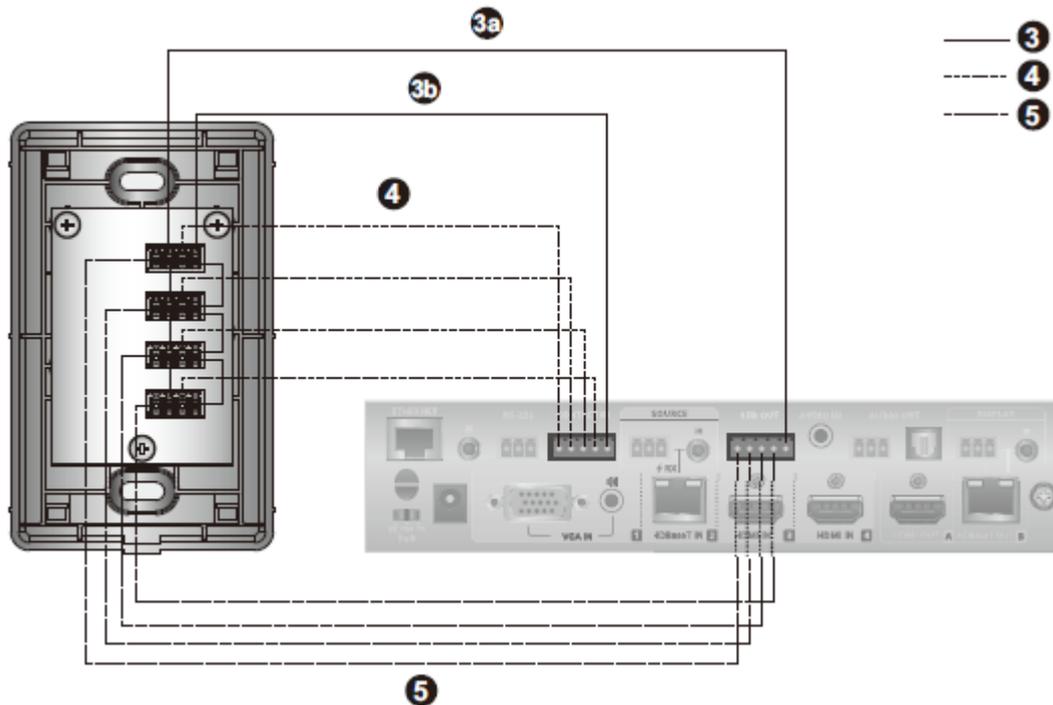
4. (オプション)オーディオを個別に提供したい場合は、オーディオソースデバイス(メディアプレイヤーなど)やマイクを、VP1420 のオーディオ入力ポートに接続してください。コンデンサーマイクを使用する場合は、ファンタム電源スイッチを ON にしてください。
5. (オプション)アクティブスピーカーをオーディオ出力ポートに接続してください。
6. (オプション)接点閉止スイッチを使って VP1421 を制御する場合は、製品パッケージに同梱されている 5 極ターミナルブロックを使って、このスイッチを接点入力ポートと LED 出力ポートに接続してください。
7. (オプション)RS-232 シリアルコマンドを使って製品本体の設定を変更する場合は、製品パッケージに同梱されている 3 極ターミナルブロックを使って、製品本体の RS-232 シリアルポートに、ハードウェアコントローラー(ATEN コントロールボックスなど)またはソフトウェアコントローラーを接続してください。
8. (オプション)Web インターフェースにアクセスできるようにするには、製品本体にあるイーサネ

ットポートをイーサネットケーブルでネットワークスイッチに接続してください。

9. (オプション)製品本体をIRリモコンから操作する場合は、製品パッケージに同梱されているIRレシーバーをIRレシーバーポートに接続してください。
10. 電源アダプターを電源ジャックに接続してください。また、電源アダプターのケーブル部分を固定したい場合は、結束バンドでケーブルタイスロットに固定することもできます(オプション)。
11. 電源プッシュボタンで製品本体の電源を ON にしてください。
12. 接続デバイスの電源をすべて ON にしてください。

VPK104

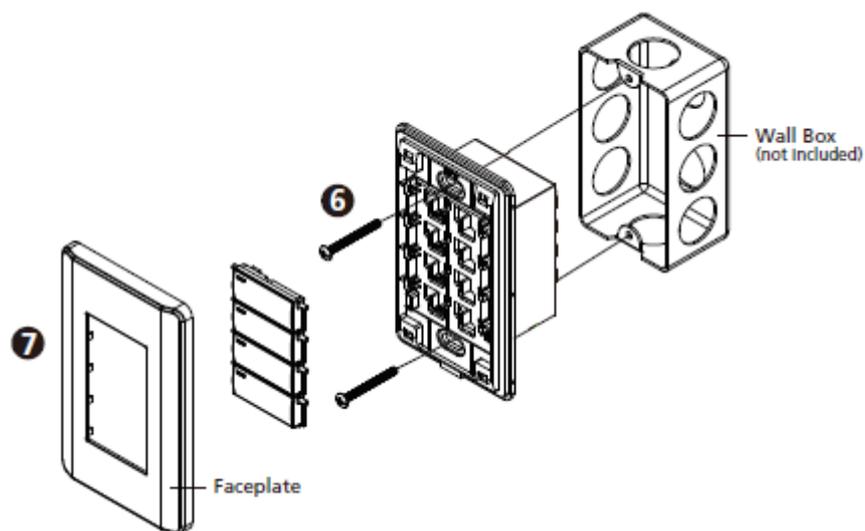
下記の手順に従って、VPK104 リモートパッドを、安全な方法で VP1420/VP1421 に接続してください。なお、セットアップ作業を行うにあたり、スイッチボックス固定用のネジを2本、スイッチボックスを1個、心線を数本、別途ご用意ください。



1. (オプション)セットアップ場所を決めたら、電源ボックスをセットアップしてください。
2. リモートパッドからフェイスプレートを取り外してください。
3. リモートパッドを接地してください。
 - a) 心線を使って、リモートパッドのLED入力(-)極とプレゼンスイッチャーのLED出力ターミナルにあるGND極を、直列に接続してください。
 - b) 心線を使って、リモートパッドの接点出力(-)極とプレゼンスイッチャーの接点入力ターミナルにあるGND極を、直列に接続してください。
4. 心線を使って、リモートパッドのLED入力ポート1(+とプレゼンスイッチャーのLED出力極1を接続してください。その他のLED入力ポートに対しても、この手順を繰り返してください。
5. 心線を使って、リモートパッドの接点出力ポート1(+とプレゼンスイッチャーの接点入力極1を

接続してください。その他の接点出力ポートに対しても、この手順を繰り返してください。

6. VPK104にキーが取り付けられていることを確認したら、VPK104の本体を2本のネジで電源ボックスに取り付けてください。
7. VPK104にフェイスプレートを取り付けてください。



第3章

ローカル操作

概要

本章では、VP1420/VP1421 をフロントパネルのボタンや IRリモコンを使って操作する方法について、詳しく説明します。

注意: 本マニュアルでは、フロントパネルにあるものを「プッシュボタン」、IR リモコンにあるものを「ボタン」と、それぞれ表記します。

操作上の注意点

- ◆ IR リモコンを使う場合は、(製品パッケージに同梱されている) IR レシーバーが VP1420/VP1421 に接続されていることを確認してください。
- ◆ IR リモコンでスムーズに操作が行えるよう、IR リモコンは、有効範囲(製品本体から 6m 以内)から操作してください。また、リモコンと IR レシーバーの間に遮るものがないことを確認してください。

ソースの切替

ディスプレイに表示されるビデオソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 「**Display Selection**」(表示選択)プッシュボタン/ボタンを使って、ディスプレイを選択してください。選択されたディスプレイに対応したボタンがオレンジに点灯します。
2. 「**Source Selection**」(ソース選択)プッシュボタン/ボタンを使って、ソースを割り当ててください。選択されたソースに対応したボタンがオレンジに点灯します。

注意: ソースが切り替わると、OSDの左上に約5秒間、次のようなマークが表示されます。



これは、スケーリングされていないオリジナルのソースの解像度を表しています。

表示モード

表示モードとは

VP1420/VP1421 は、次の表示モードに対応しています。

- ◆ マトリックスモード():このモードが有効になっていると、A/V ソースを個別に設定したり、別々の出力を表示したりすることができます。
- ◆ ミラーモード():このモードが有効になっていると、ディスプレイBにはディスプレイAに割り当てられている A/V ソースが使用され、同一コンテンツが表示されます。

設定

現在の表示モードを表示するには、「**Mode**」(モード)プッシュボタン/ボタンを 1 回押してください。そうすると、ディスプレイ A の左下に、現在の設定が表示されます。表示モードを変更する場合は、もう一度、「**Mode**」(モード)プッシュボタン/ボタンを押してください。



オーディオ設定

- ◆ VP1421 におけるすべてのオーディオ出力のボリュームを調整する場合は、本体フロントパネルにある「Volume」(ボリューム)ツマミ、または、IR リモコンにある「Volume Up」(ボリューム UP)や「Volume Down」(ボリューム DOWN)の各ボタンを使ってください。
- ◆ VP1421 におけるマイクまたは個別のオーディオソースのボリュームを調整する場合は、本体フロントパネルにある「MIC」(マイク)ツマミを使ってください。
- ◆ オーディオ出力(ディスプレイおよびスピーカー)をすべてミュート(消音)にする場合は、次の操作を行ってください。
 - VP1420 では、「Mute」(ミュート)プッシュボタン/ボタンを押してください。
 - VP1421 では、本体フロントパネルにある「Volume」(ボリューム)ツマミ、または IR リモコンにある「Mute」(ミュート)ボタンを押してください。

フロントパネルのロック

フロントパネルから誤ってシステム設定を変更されるのを防ぐために、「Mode」(モード)プッシュボタンを使ってパネルをロックしたり、Web コンソール(「General」(全般) > 「Panel Auto Lock」(パネルの自動ロック))を使って自動ロックが起動するまでのアイドル時間を設定したりすることができます。パネルロックを有効/無効にする操作、および、各操作時における LED 表示については、下表を参照してください。

操作	ロック LED  (モードプッシュボタン)
「Mode」(モード)プッシュボタンを3秒間押し続けて、フロントパネルをロックする。	レッドに点灯
「Mode」(モード)プッシュボタンを再度3秒間押し続けて、フロントパネルのロックを解除する。	消灯
パネルのロック時にフロントパネルのプッシュボタンやツマミを使って調整を行う。	3回点滅

注意: 「Mode」(モード)プッシュボタンを使ってパネルをロックした場合は、ロックを解除する場合も、必ず「Mode」(モード)プッシュボタンで長押ししてロックを解除してください。Web コンソールからパネルロックを無効にしても、ロックを解除することができません。

電源 LED の表示

電源プッシュボタンには、VP1420/VP1421 の電源状態を示す LED が付いています。LED が示す状態と、その状態に対応する操作については、下表を参照してください。

LED 表示 (電源プッシュボタン)	VP1420/VP1421 の 状態	操作
消灯	電源 OFF	VP1420/VP1421 の電源を ON にする場合は、背面の電源アダプターを接続して給電を行ってください。
オレンジに点滅	システム情報の読み込み中	製品本体が情報の読み込みを終えるまで待機してください。
オレンジ	スタンバイモード	スタンバイモードとは、ユーザーが必要な時に操作を素早く再開できるようにシステムの一部を停止しておく省エネモードのことです。 VP1420/VP1421 のスタンバイモードを解除するには、「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを 1 回押してください。 注意 ：スタンバイモードの状態では、まず、スタンバイモードを解除してから、本体の電源を切るようにしてください。

(表は次のページに続きます)

LED 表示 (電源プッシュボタン)	VP1420/VP1421 の 状態	操作
グリーン	スタンバイモード解除	<ul style="list-style-type: none"> ◆ スタンバイモードを有効にして省エネを行う場合は、「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを 1 回押してください。 ◆ 製品の電源を OFF には <ol style="list-style-type: none"> (1) 「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを 3 秒間長押ししてください。OSD に確認メッセージが表示されます。 (2) 「Power」(電源)プッシュボタン/ボタンを 1 回押してください。VP1420/VP1421 の電源が OFF になります。 <p>注意:IRリモコンで VP1420/VP1421 の電源を OFF にすることはできません。</p>

第4章

リモート操作

概要

本章では、Web コンソールを使ってリモートから VP1420/VP1421 の操作や設定を行う方法について説明します。

ネットワークとログインのデフォルト設定

VP1420/VP1421 では、次のネットワーク設定およびログイン認証情報をデフォルト設定として使用しています。

◆ ネットワークのデフォルト設定

ネットワークパラメーター	設定
IP アドレス	192.168.0.60
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
HTTP ポート	80

注意: VP1420/VP1421 が DHCP 対応のルーターに接続されていると、ネットワークへの接続時に動的 IP アドレスが割り当てられます。この IP アドレスは、RS-232 シリアルコントローラーから read コマンドを使って確認してください。詳細は p.57「第 5 章 CLI コマンド」を参照してください。

◆ ログイン認証のデフォルト設定

ログイン認証情報	デフォルト設定	制限事項
ユーザーネーム	administrator	半角英数字 5～30 文字を使って設定してください。特殊文字は使用できません。また、大文字と小文字も区別されません。
パスワード	password	

対応 Web ブラウザ

VP1420/VP1421 の Web UI には、下記の OS と Web ブラウザを使ってアクセスすることができます。

OS	Web ブラウザ	対応バージョン
Windows 10 (64bit 版)	Edge	40.15063.674.0
	Firefox	64.0
	Chrome	71.0.3578.98
	Opera	57.0.3098.91
	QQ	10.2.1
	Baidu	8.7.5000.4980
	360	9.1.0434
Windows 8.1	IE	11
Windows 7 SP1 (64bit 版)	IE	11
CentOS 7.5 (64bit 版) Kernel 4.18.11-1	Firefox	60.0.4
Ubuntu 18.04 (64bit 版) Kernel 4.19.041900rc3	Chrome	71.0.3578.98-1
Solaris 11.4 (64bit 版) 5.11	Firefox	52.9.0
Mac 10.14.4	Safari	8

Web コンソールへのログイン

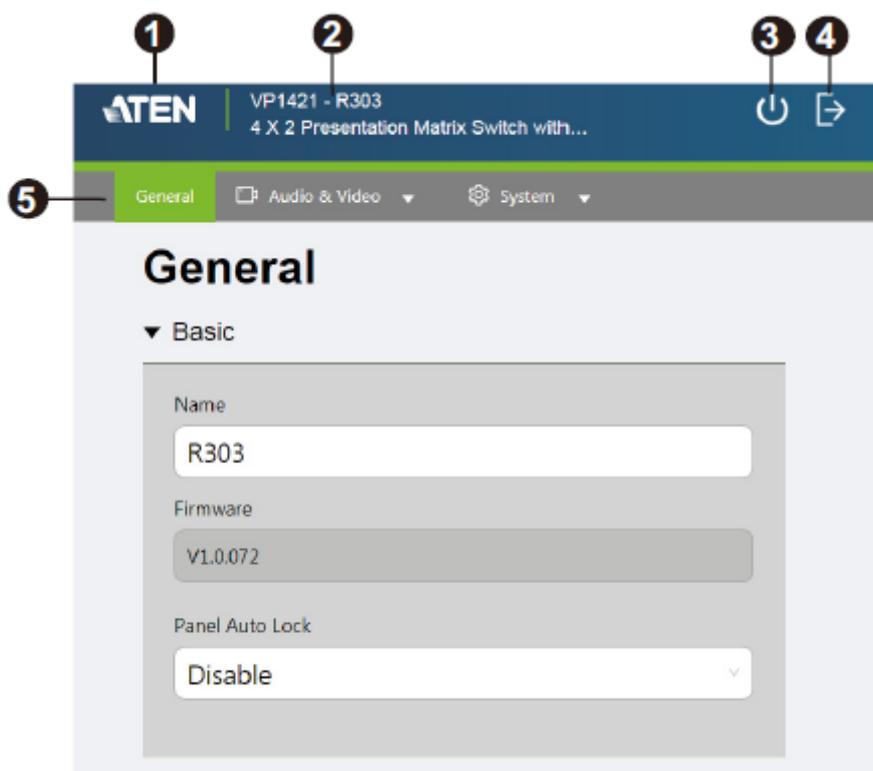
1. Web ブラウザで、VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



2. ユーザーネームの欄に「**administrator**」と入力してください。また、このユーザーのパスワードを、パスワード欄に入力してください。
3. 「**Log In**」(ログイン)をクリックしてください。そうすると、メイン画面が表示されます。

メイン画面

VP1420/VP1421 では、ログインするとデフォルトでメイン画面に遷移します。Web コンソールの概要は、次の図および表を参照してください。



No.	名称	説明
1		ロゴをクリックすると、ATEN 公式 Web サイトアクセスします。
2	Device Information (デバイス情報)	デバイスの型番と名前が表示されます。
3		このアイコンをクリックすると、スタンバイモードを有効にします。このモードは、ユーザーが必要な時に操作を素早く再開できるようにシステムの一部を停止しておく省エネモードのことです。
4		このアイコンをクリックすると、Web コンソールからログアウトします。
5	Settings(設定)タブ	タブをクリックすると、各設定の画面に切り替わります。

全般設定

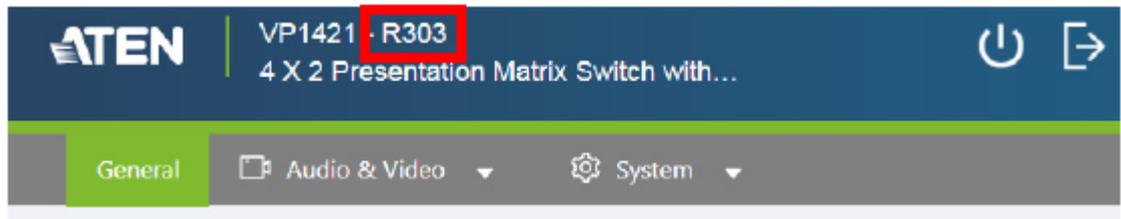
全般設定には、デバイス名、パネルロック、EDID、ログインパスワードの設定が含まれます。全般設定の画面にアクセスするには、Web コンソールにログインしてください。

The screenshot shows the 'General' settings page with the following configuration:

- Basic**
 - Name: R303
 - Firmware: V1.0.072
 - Panel Auto Lock: Disable
- Advance**
 - EDID: Display A
 - Target of Contact Closure (DI): Display A
 - HDCP Mode: 2.2
- Change Password**
 - Username: administrator
 - Password: [masked]
 - Confirm Password: [masked]

◆ Basic(基本)

- **Name(名前)**:VP1420/VP1421 の名前を入力してください。ここでは、半角英数字を使って 30 文字以内で入力してください。特殊文字は使用できません。これは、Web コンソール上部の型番の後ろに表示されます。



- **Firmware(ファームウェア)**:VP1420/VP1421 のファームウェアのバージョン情報が表示されます。
- **Panel Auto Lock(パネルの自動ロック)**:フロントパネルがロックされるまでのアイドル時間を設定します。

◆ Advance(詳細)

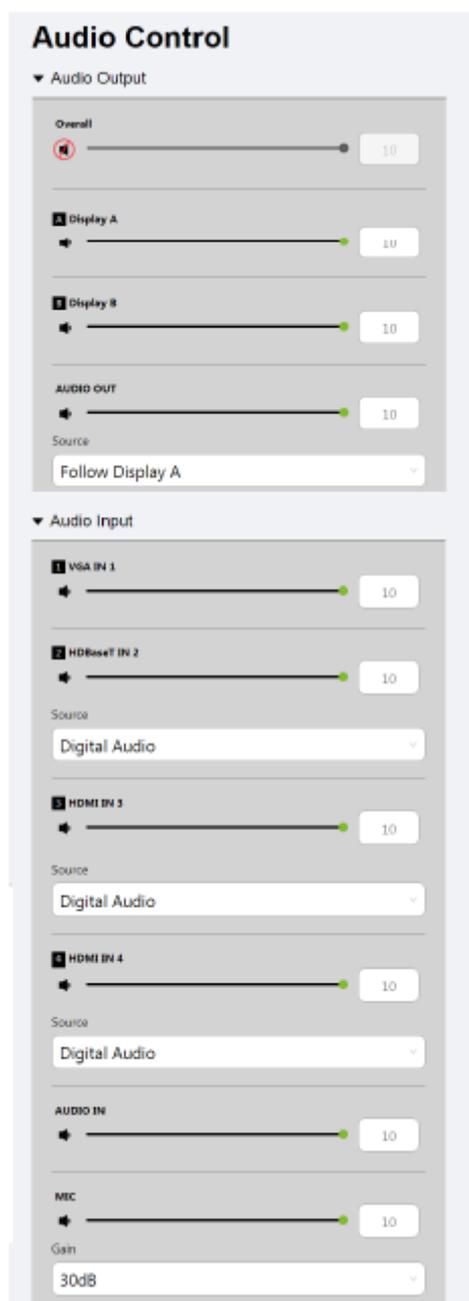
- **EDID**
 - **Display A(ディスプレイ A)**:接続ソースに対して、ディスプレイ A の EDID 情報を送信します。
 - **ATEN default(ATEN デフォルト)**:プリセットされた ATEN EDID を、接続ソースへと送信します。
 - **Remix(リミックス)**:接続されているすべてのディスプレイの EDID を精査し、最適な値を接続ソースへと送信します。
- **Target of Contact Closure(接点閉止の対象)**:VPK104 のボタンを押したときに切替するディスプレイを指定します。
- **HDCP Mode(HDCP モード)**:VP1420/VP1421 の HDCP を設定します。

- ◆ **Change Password(パスワードの変更)**:ログインパスワードの変更を行います。パスワードはデフォルトでは「password」に設定されています。パスワードではアルファベットの大文字と小文字を区別しません。また、半角英数字を使って 5~16 文字で設定してください(ただし、半角スペースや特殊文字は使用できません)。

オーディオ&ビデオ設定

オーディオ制御

オーディオ制御画面にアクセスするには、Web コンソールにログインし、「Video & Audio」(ビデオ & オーディオ) > 「Audio」(オーディオ)に進んでください。



Audio Output (オーディオ出力)

◆ Overall Volume (全体のボリューム) :

- VP1420: 接続されているスピーカーのオーディオをミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: 接続されているスピーカーの音量を設定します。

◆ Display A (ディスプレイ A) :

- VP1420: ディスプレイ A のオーディオをミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: ディスプレイ A の音量を設定します。

◆ Display B (ディスプレイ B) :

- VP1420: ディスプレイ B のオーディオをミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: ディスプレイ B の音量を設定します。

◆ Audio Out (オーディオ出力) :

- VP1420: オーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのオーディオを、ミュート(消音)またはミュート解除します。
- VP1421: オーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーの音量を設定します。
- **Source (ソース) :** VP1420/VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーに対して、オーディオソースを設定します。
 - ディスプレイ A と同じオーディオソースを使用する場合は、「**Follow Display A**」(ディスプレイ A に従う)を選択してください。
 - ディスプレイ B と同じオーディオソースを使用する場合は、「**Follow Display B**」(ディスプレイ B に従う)を選択してください。
 - (オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Audio In**」(オーディオ入力)を選択してください。

Audio Input (オーディオ入力) (VP1420)

◆ HDMI In 2 / HDMI In 3 / HDMI In 4 (HDMI 入力 2 / HDMI 入力 3 / HDMI 入力 4) : VP1420 では利用できません。

- **Source (ソース) :** HDMI 2/HDMI 3/HDMI 4 に対してオーディオソースを設定します。ビデオと同じソースにあるオーディオを使用する場合は、「**Digital Audio**」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Embedded Audio In**」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。

Audio Input (オーディオ入力) (VP1421)

- ◆ **VGA In 1 (VGA 入力 1)**:VGA ソースの音量を設定します。
- ◆ **HDBaseT In 2 (HDBaseT 入力 2)**:HDBaseT ソースの音量を設定します。
 - **Source (ソース)**:HDBaseT のオーディオソースを設定します。ビデオと同じソースにあるオーディオを使用する場合は、「**Digital Audio**」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Embedded Audio In**」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
- ◆ **HDMI In 3 / HDMI In 4 (HDMI 入力 3/HDMI 入力 4)**:HDMI 入力 3/HDMI 入力 4 の音量を設定します。
 - **Source (ソース)**:HDMI 入力 3/HDMI 入力 4 のオーディオソースを設定します。ビデオと同じソースにあるオーディオを使用する場合は、「**Digital Audio**」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースを使用する場合は、「**Embedded Audio In**」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
- ◆ **Audio In (オーディオ入力)**:オーディオ入力ポートに接続された個別のオーディオソースの音量を設定します。
- ◆ **Mic Volume (マイクボリューム)**:マイク入力ポートに接続されたマイクの音量を設定します。
 - **Gain (ゲイン)**:マイク入力ポートに接続されたマイクのゲインを設定します。

「適用」と「自動適用」

オーディオ制御画面で行った変更を自動的に適用する場合は、画面の下にある「**Auto Apply**」(自動適用)を選択してください。

ビデオ制御

ビデオ制御画面では、ビデオソースを割り当てたり、ビデオ設定を定義したりすることができます。この画面にアクセスするには、Web コンソールにログインし、「Video & Audio」(ビデオ&オーディオ) > 「Video」(ビデオ)に進んでください。



- ◆ **Display A / Display B (ディスプレイ A/ディスプレイ B)** : 選択中のソースのプレビューを表示します。また、プレビュー中央には、ソース番号が表示されます。✎ をクリックすると、ソース名を編集することができます。
- ◆ **Mirror Mode (ミラーモード)** : この項目が有効になっていると、ディスプレイ B にはディスプレイ A と同じビデオコンテンツが表示されます。
- ◆ **Source (ソース)** : 全ソースポートの接続状況、および現在割り当てられているソース(グリーンで表示)が一覧表示されます。

- ◆ ディスプレイに対するソースを切り替える場合は、一覧からソースを選択してください。割り当てられているソースはグリーンで強調表示されます。
- ◆ ソース名を編集する場合は、 をクリックしてください。
- ◆ **CEC**: CEC (Consumer Electronics Control) は、相互接続された HDMI デバイスを 1 台のリモコンで操作できるようにする業界標準規格です。この設定は、デフォルトで有効になっています。
- ◆ **Scaler Up (アップスケーリング)**: 解像度 1080p のソースを 4K へと自動的にアップスケーリングする場合は、「**Auto**」(自動)を選択してください。サポートされるアップスケーリング解像度については、p.111「製品仕様」を参照してください。
- ◆ **Scaler Down (ダウンスケーリング)**: 4K 解像度のソースを 1080p へと自動的にダウンスケーリングする場合は、「**Auto**」(自動)を選択してください。サポートされるダウンスケーリング解像度については、p.111「製品仕様」を参照してください。
- ◆ **Auto Switching (自動切替)**: ディスプレイ A を新規検出ソースへと自動的に切り替えます。

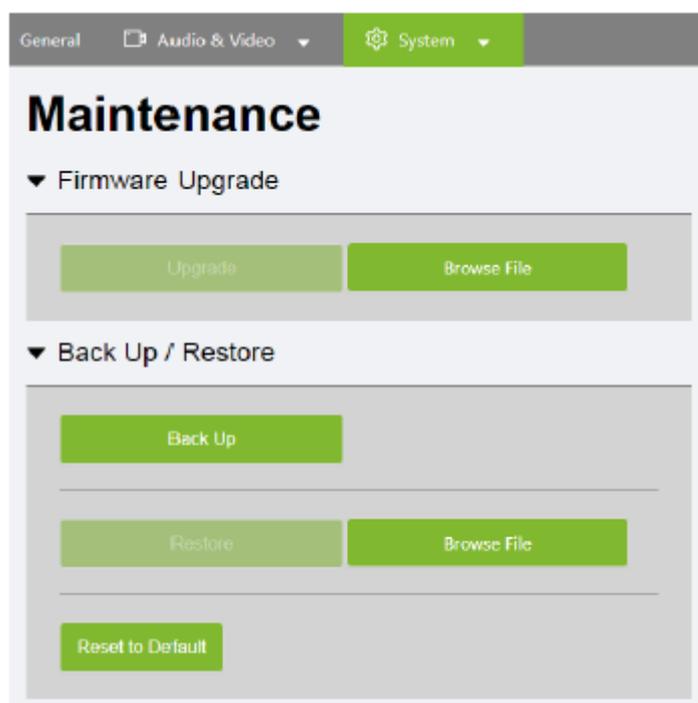
「適用」と「自動適用」

ビデオ制御画面で行った変更を自動的に適用する場合は、画面の下にある「**Auto Apply**」(自動適用)を選択してください。

システム設定

メンテナンス

メンテナンス画面を使うと、システムファームウェアのアップグレード、システム設定のバックアップやリストア、およびデフォルト設定のリストアを行うことができます。この画面にアクセスするには、Web コンソールにログインし、「System」(システム) > 「Maintenance」(メンテナンス)に進んでください。



システムファームウェアのアップグレード

1. 適用したいファームウェアファイルを準備してください。
 - a) 弊社 Web サイト (<https://www.aten.com/jp/ja/>) にアクセスしてください。
 - b) ファームウェアの最新版をダウンロードしてください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページのトップページの右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。
2. VP1420/VP1421 の Web コンソールにログインし、「System」(システム) > 「Maintenance」(メ

メンテナンス)に進んでください。

3. 「Firmware Upgrade」(ファームウェアアップグレード)セクションで、「**Browse File**」(ファイルの参照)をクリックして、手順 1-(b)でダウンロードしたファームウェアファイルを選択したら、「**Upgrade**」(アップグレード)をクリックしてください。そうすると、アップグレード処理が開始します。
4. アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示され、製品本体が再起動します。

システム設定のバックアップ

VP1420/VP1421 の設定は、エクスポートしてバックアップを取ることができます。なお、このバックアップには、ユーザーネームとパスワードの設定は含まれませんので、ご注意ください。

1. VP1420/VP1421 の Web コンソールにログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス)に進んでください。
2. 「**Backup**」(バックアップ)をクリックしてください。

システム設定のリストア

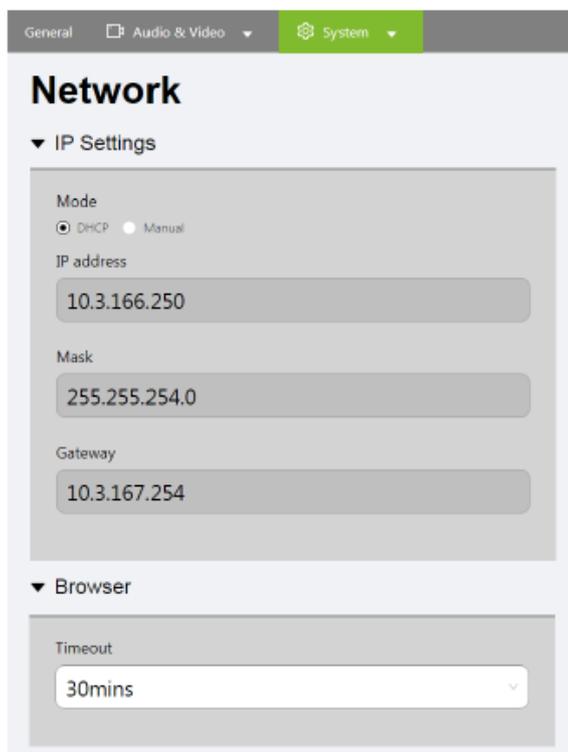
1. VP1420/VP1421 の Web コンソールにログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス)に進んでください。
2. VP1420/VP1421 の設定をリストアするには、あらかじめ保存しておいたバックアップファイル (*.aes ファイル)を、「**Browse File**」(ファイルを参照)をクリックして選択して、「**Restore**」(リストア)をクリックしてください。

VP1420/VP1421 のデフォルトへのリセット

1. VP1420/VP1421 の Web コンソールにログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス)に進んでください。
2. 「**Reset to Default**」(デフォルトへのリセット)をクリックしてください。この操作を行うと、ネットワーク設定を含むすべての設定をデフォルト値にリセットします。

ネットワーク設定

VP1420/VP1421 のネットワーク接続設定を変更するには、Web コンソールにログインし、「System」(システム) > 「Network」(ネットワーク)に進んでください。



IP Settings (IP 設定)

- ◆ **Mode (モード)**: VP1420/VP1421 が IP アドレスを取得してネットワークに接続する方法を設定します。
 - **DHCP**: このオプションを選択すると、VP1420/VP1421 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS がそれぞれ、接続されたネットワークスイッチによって動的に割り当てられます。
 - **Manual (手動)**: このオプションを選択すると、VP1420/VP1421 は固定の IP アドレスを使用します。この場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを、それぞれ手入力で設定してください。

Browser (ブラウザ)

- ◆ **Timeout (タイムアウト)**: リクエストを終了する前に Web ブラウザが VP1420/VP1421 への接続確立を待機する時間を設定します。

第5章

CLI コマンド

概要

VP1420/VP1421 は、ホストコンピューター、あるいはコントロールシステムのようなデバイスに接続している場合、RS-232 や Telnet コマンドを使って設定や制御を行うことができます。本章では、RS-232/Telne を使って VP1420/VP1421 に接続する方法や、コマンド構文について説明します。

Telnet 経由での接続

VP1420/VP1421 に対して Telnet セッションを確立するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. VP1420/VP1421 と共有するネットワークに、ホストコンピューターまたはコントロールシステムを接続してください。
2. お使いのコンピューターで、コマンドプロンプトのような CLI プログラムを起動してください。
3. CLI プログラムのコマンドラインで、VP1420/VP1421 の IP アドレスを次のように入力してください。

```
telnet [IP アドレス]: 23
```

4. **[Enter]**キーを押してください。そうすると、ログイン画面が表示されます。
5. ログインプロンプトが表示されたら、VP1420/VP1421 のユーザーネームとパスワードを入力してください。
6. VP1420/VP1421 とのセッションが確立すると、RS-232 コマンドで VP1420/VP1421 の制御や設定を行うことができますようになります。コマンドに関する詳細は、次のページを参照してください。

◆ p.59「コマンド構文」

◆ p.60「コマンド一覧」

注意: 既にセッションを使用しているユーザーネームを使ってログインした場合、新規ログインが有効になり、既存ログインから置き換わります。

RS-232 経由での接続

1. VP1420/VP1421 本体の RS-232 シリアルポートに、ホストコンピューターまたはコントロールシステムを接続してください。
2. お使いのコントローラー用コンピューターで RS-232 シリアル制御を行うのに適したコントローラーソフトウェアをダウンロードし、インストールを行ってください。
3. ソフトウェアを実行し、次の接続設定を行ってください。
 - ◆ 接続するシリアルライン: **COM1**
 - ◆ 速度(ボーレート): **9600**
 - ◆ データビット: **8**
 - ◆ ストップビット: **1**
 - ◆ パリティ: **無**
 - ◆ フローコントロール: **無**
4. VP1420/VP1421 とのセッションが確立すると、RS-232 コマンドを送信して VP1420/VP1421 の設定を行うことができます。コマンドに関する詳細は、次のページを参照してください。
 - ◆ p.59「コマンド構文」
 - ◆ p.60「コマンド一覧」

コマンド構文

- ◆ コマンドの基本形式は次のとおりとなります。

コマンド パラメーター<引数> {1|2|3}

表記法	説明
コマンド	コマンドの名前は太字で表記されています。
パラメーター	パラメーターの名前を示します。
<引数>	ユーザーが提供しなければならない値の名前、または情報を示します。コマンドを実行する際は、前後のカッコは入力せず、引数だけを入力してください。
[]	オプションのアイテムを示します。コマンドを実行する際は、前後のカッコは入力せず、オプションだけを入力してください。
{ }	ユーザーが1つ選択できるオプションを示します。
	コマンドラインにおいて、相互に排他的な複数のオプションを示します。コマンドラインには、この記号を含めず、オプションだけを入力してください。

- ◆ 複数のパラメーターを使用する場合、パラメーターの順番が操作の結果に影響を与えることはありません。例えば、次のコマンドは両方とも同じタスクを実行します。

コマンド名 + パラメーター1 + パラメーター2

コマンド名 + パラメーター2 + パラメーター1

コマンド一覧

VP1420/VP1421 に Telnet または RS-232 経由でアクセスし、制御や設定を行うには、次のコマンドを使用します。VP1420/VP1421 に対して Telnet または RS-232 セッションを確立する方法の詳細については、p.57「Telnet 経由での接続」、および p.58「RS-232 経由での接続」を参照してください。

ポート番号

VP1420/VP1421 の各入出力ポートに対する引数は、下表を参照してください。例えば、ビデオポート 1 に対する<入力ポート>の値は i01、オーディオ入力に対する<入力ポート>の値は i05 となります。

ソース	ソース番号	インターフェース		ポート番号
		VP1420	VP1421	
ビデオ入力	1	VGA	VGA	i01
	2	HDMI	HDBaseT	i02
	3	HDMI	HDMI	i03
	4	HDMI	HDMI	i04
ビデオ出力	1	HDMI	HDMI	o01
	2	HDMI	HDBaseT	o02
オーディオ入力	N/A	ステレオ	ステレオ	i05
オーディオ出力	N/A	-	ステレオ	o03
	N/A	光デジタル	光デジタル	o03
マイク	N/A	-	✓	i06

cec

◆ 機能

指定されたポートにおける CEC (Consumer Electronics Control) 機能を有効/無効にします。

◆ 構文

cec o<出力ポート> { on | off }

◆ パラメーター

- o <出力ポート> : 出力ポートを 2 桁の数字で指定します。
- on : 特定のポートにおける CEC を有効にします。

➤ **off** : 特定のポートにおける CEC を無効にします。

◆ **例**

cec o01 on

displaymode

◆ **機能**

VP1420/VP1421 をマトリックスモードまたはミラーモードに設定します。

◆ **構文**

displaymode { matrix | mirror }

◆ **パラメーター**

- **matrix** : このモードが有効になっていると、A/V ソースを個別に設定したり、別々の出力を表示したりすることができます。
- **mirror** : このモードが有効になっていると、ディスプレイ B にはディスプレイ A に割り当てられている A/V ソースが使用され、同一コンテンツが表示されます。

◆ **例**

displaymode matrix

echo

◆ **機能**

操作がフロントパネル、Web コンソールまたは Telnet で行われている時に、VP1420/VP1421 に接続されている RS-232 コントローラーをアップデートします。この機能は、RS-232 コントローラーと VP1420/VP1421 の間で同期を維持する場合に実行してください。

◆ **構文**

echo { on | off }

◆ **パラメーター**

- **on** : 指定されたポートにおけるエコー機能を有効にします。
- **off** : 指定されたポートにおけるエコー機能を無効にします。

edid

◆ 機能

VP1420/VP1421 の EDID モードを設定します。

◆ 構文

edid { port1 | remix | default }

◆ パラメーター

- **port1** : 出力ポート A に接続されたディスプレイに従って VP1420/VP1421 の EDID モードを設定します。
- **remix** : 接続されているすべてのディスプレイの EDID を精査し、最適な値を接続ソースへと送信します。
- **default** : VP1420/VP1421 の EDID モードを ATEN デフォルトに設定します。このモードでは、プリセットされた ATEN EDID を接続ソースへと送信します。

◆ 例

edid default

mute

◆ 機能と構文

構文	機能
mute	各入出力ポートに対するミュート設定を表示します*。
mute { i<入力ポート> i* }	指定された入力ポートまたは出力ポートに対するミュート設定を表示します*。
mute { o<出力ポート> o sys o* }	
mute { i<入力ポート> i* } { on off }	指定されたオーディオ入力 (VP1421 のみ) またはオーディオ出力をミュートまたはミュート解除します。
mute { o<出力ポート> o sys o* } { on off }	

注意: ※印の付いた機能は、VP1421 でのみサポートされます。

◆ パラメーター

- **i<入力ポート>** : 入力ポートを 2 桁の数字で指定します。
- **i*** : すべての入力ポートを表します。
- **o<出力ポート>** : 出力ポートを 2 桁の数字で指定します。

- `o sys` : すべてのオーディオ出力(ディスプレイとスピーカー)を表します。
- `o*` : すべての出力ポートを表します。
- `on` : 指定された入出力ポートにおけるオーディオをミュートします。
- `off` : 指定された入出力ポートにおけるオーディオをミュート解除します。

◆ 例

`mute o01 off`

power

◆ 機能

VP1420/VP1421 の電源を ON または OFF にします。

◆ 構文

`power { on | off }`

read

◆ 機能と構文

構文	機能
<code>read</code>	各出力ポートに対して割り当てられている A/V 入力、EDID モード、デバイス情報、ネットワーク設定を表示します。
<code>read version</code>	システムファームウェアのバージョンを表示します*。
<code>read o<出力ポート> connection</code>	指定された出力ポートに対する A/V 入力の割り当てを表示します*。
<code>read o* connection video</code>	すべての出力ポートに対するビデオ入力の割り当てを表示します*。
<code>read o<出力ポート> connection audio</code>	指定された出力ポートに対するオーディオ入力の割り当てを表示します*。
<code>read o* connection audio</code>	すべての出力ポートに対するオーディオ入力の割り当てを表示します*。

注意: ※印の付いた機能は、VP1421 でのみサポートされます。

reset

◆ 機能

VP1420/VP1421 をデフォルト設定にリセットします。

◆ 構文

reset

scaling

◆ 機能と構文

構文	機能
scaling	出力 A および B におけるスケーリングの設定を読み込みます*。
scaling o<出力ポート> { auto off }	特定の出力ポートを自動または OFF に設定します*。

注意: ※印の付いた機能は、VP1421 でのみサポートされます。

standby

◆ 機能と構文

構文	機能
standby	現在のスタンバイモードの設定を表示します。スタンバイモードとは、ユーザーが必要な時に操作を素早く再開できるようにシステムの一部を停止しておく省エネモードのことです。
standby { on off }	スタンバイモードを有効または無効にします。

◆ パラメーター

- on : スタンバイモードを有効にします。
- off : スタンバイモードを無効にします。

SW

◆ 機能

特定のディスプレイにおける特定のソースを切り替えます。

◆ 構文

sw { o<出力ポート> | o* } { i<入力ポート> | i+ | i- }

◆ パラメーター

- i<入力ポート> : 入力ポートを2桁の数字で指定します。
- + : 次の入力ポートを表します。
- - : 前の入力ポートを表します。
- o<出力ポート> : 出力ポートを2桁の数字で指定します。
- o* : すべての出力ポートを表します。

◆ 例

sw o01 i02

sw o01 +

sw o* i02

swmode

◆ 機能

自動切替機能を有効または無効にします。

◆ 構文

VP1421 の場合 : **swmode** plugin { auto | off }

VP1420 の場合 : **swmode** { auto | off }

volume

◆ 機能と構文

構文	機能
volume	全体のボリューム、および各入出力ポートに対するボリュームを表示します。
volume { <i>i</i> <入力ポート> <i>i</i> * } <i>v</i> <ボリューム数値>	特定の入力ポートまたは出力ポートに対するボリュームを設定します*。
volume { <i>o</i> <出力ポート> <i>o</i> sys <i>o</i> * } <i>v</i> <ボリューム数値>	

注意: ※印の付いた機能は、VP1421 でのみサポートされます。

◆ パラメーター

- *i*<入力ポート> : 入力ポートを2桁の数字で指定します。
- *i** : すべての入力ポートを表します。
- *o*<出力ポート> : 出力ポートを2桁の数字で指定します。
 - ◇ 出力1(VGA/オーディオ入力) : **o01**
 - ◇ 出力2(HDBaseT) : **o02**
- *o** : すべての出力ポートを表します。
- *v*<ボリューム数値> : 指定されたオーディオポートに対して設定したいボリュームの値を、2桁の数字(01~10)で設定します。

◆ 例

volume i01 v10

volume o03 v05

第6章

ビデオプレゼン制御アプリ

概要

ATEN ビデオプレゼン制御アプリは、VP1420/VP1421 デバイスのシステム設定が簡単に行えるよう設計されたものです。

対応システム

ATEN ビデオ制御プレゼンアプリは、次のモバイル OS に対応しています。

モバイル OS	説明
Android	バージョン 8.0 以降
iOS	バージョン 12 以降

アプリのインストールと設定

1. モバイルデバイスに ATEN ビデオ制御アプリをインストールしてください。

- モバイルデバイスから、App Store  または Google Play  のアイコンをタップしてください。
- 検索ボックスに「ATEN Video Presentation Control App」と入力してください。
- 「ATEN Video Presentation Control App」をタップしてアプリをインストールしてください。
- または -
- 下にある QR コードをスキャンして、アプリをインストールしてください。



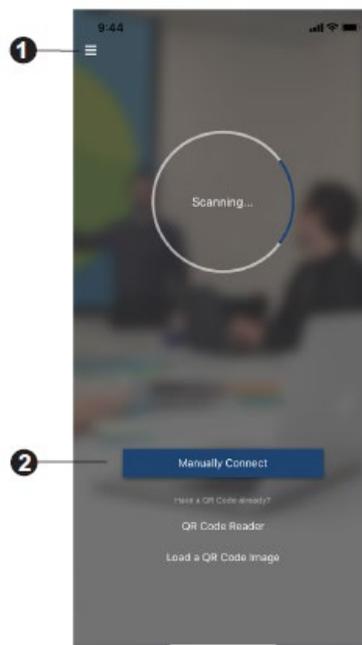
2. モバイルデバイスから、「ATEN Video Presentation Control App」のアイコン  をタップしてください。

注意: モバイルデバイスは必ず VP1420/VP1421 がセットアップされているネットワークに接続してください。

iOS 版

メイン画面

ATEN ビデオ制御アプリにログインすると、デフォルトでスキャン画面に遷移します。各タブの機能概要については、下表を参照してください。



No.	名称	説明
1	情報 	このアイコンをタップすると、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。
2	Manually Connect (手動接続)	このアイコンをタップすると、IP アドレスとパスワードを入力して、コントロールパネルに手動接続し、ログインします。

注意: QR コードリーダーおよび QR コードイメージの読み込み機能は、VP1420/VP1421 に搭載されていません。

情報

次の画面は、情報画面の外観です。ここでは、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。「**Contact us**」(お問い合わせ)をタップすると、ATEN 公式 Web サイトに接続します。



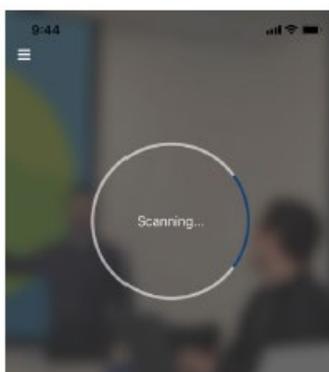
コントロールパネルへのログイン

VP1420/VP1421 で ATEN ビデオプレゼン制御アプリを介してコントロールパネルにログインするには3つの方法があります。アプリが開いている場合、アクセスできるデバイスや利用可能な部屋を自動的にスキャンします。あるいは、IP アドレスとパスワードを手入力して、コントロールパネルにログインすることもできます。いずれの方法についても、次のセクションから説明していきます。

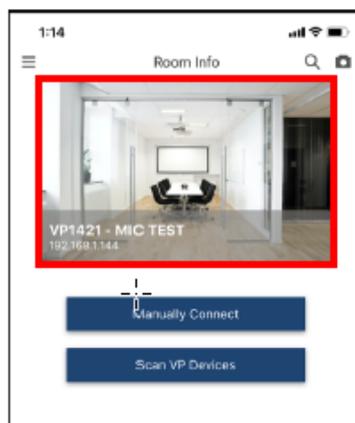
コントロールパネルに自動ログインするには

自動スキャンを行ってコントロールパネルに自動ログインするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、スキャン処理が完了するまでお待ちください。

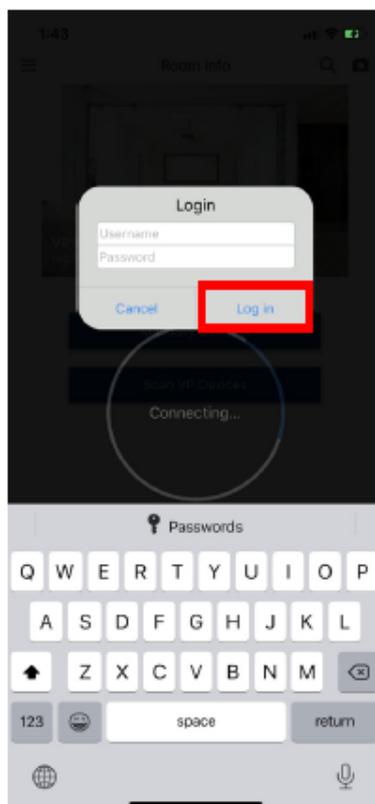


2. スキャンが完了すると、「Room List」(部屋一覧)画面が表示されます。部屋をタップしてコントロールパネルにログインしてください。

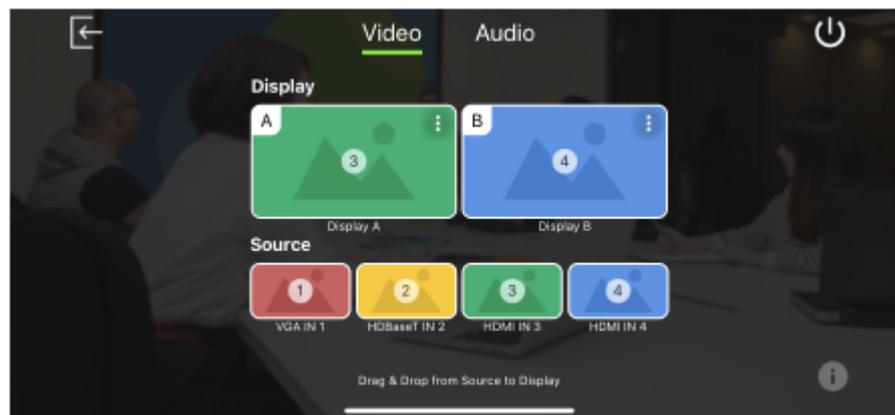


3. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティ上の理由から、VP1420/VP1421 の Web コンソールに対して初めてログインする際に、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



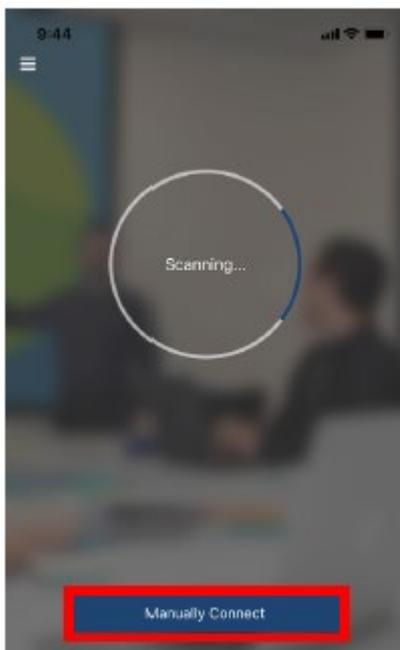
4. これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。



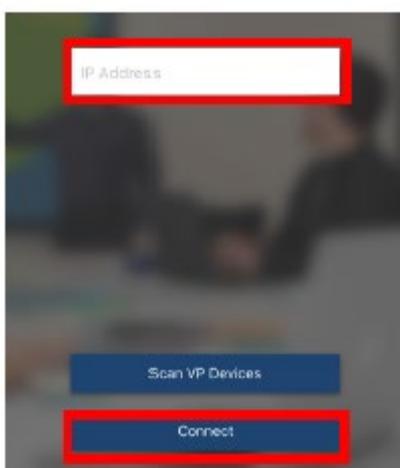
コントロールパネルに手動接続でログインするには

手動で接続してコントロールパネルにログインするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。

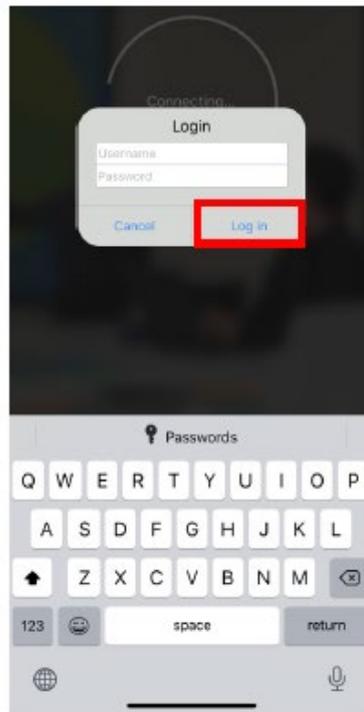


2. VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「**Connect**」(接続)をタップしてください。



3. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

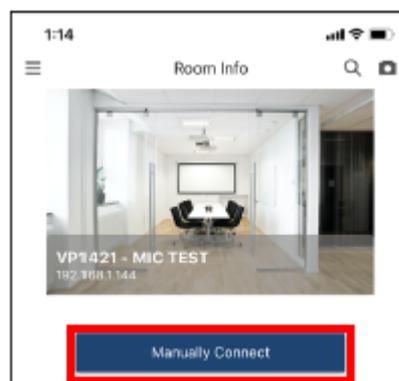
注意: セキュリティ上の理由から、VP1420/VP1421 の Web コンソールに対して初めてログインする際に、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



4. これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。

または

5. 「Room List」(部屋一覧)画面から「Manually Connect」(手動接続)をタップしてください。

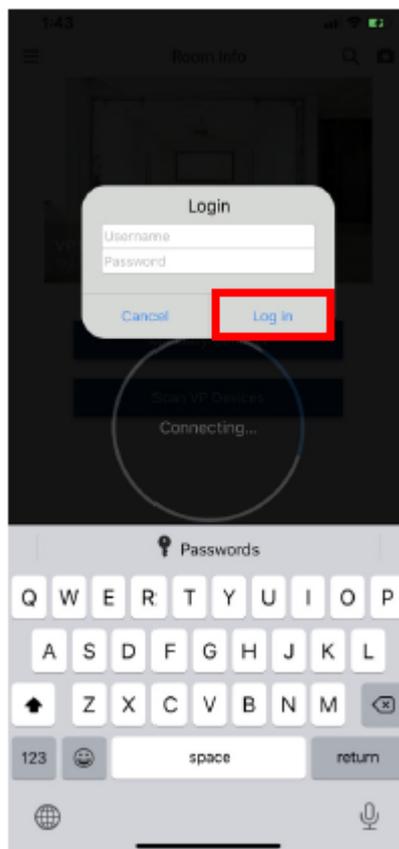


6. VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「Connect」(接続)をタップしてください。



7. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティ上の理由から、VP1420/VP1421 の Web コンソールに対して初めてログインする際に、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。

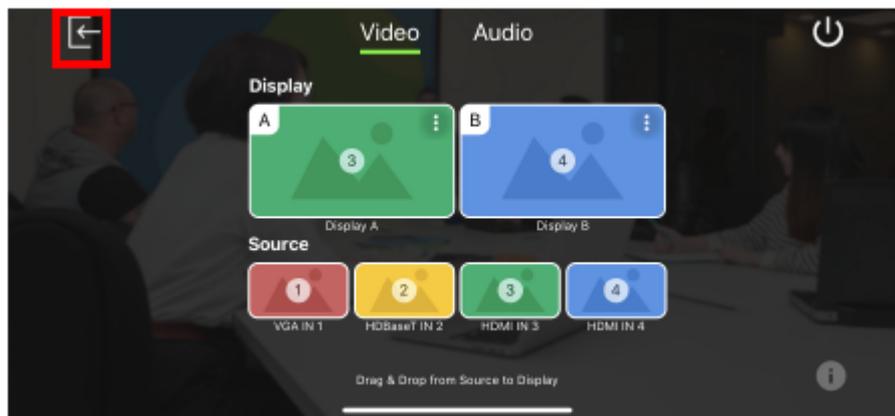


8. これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。

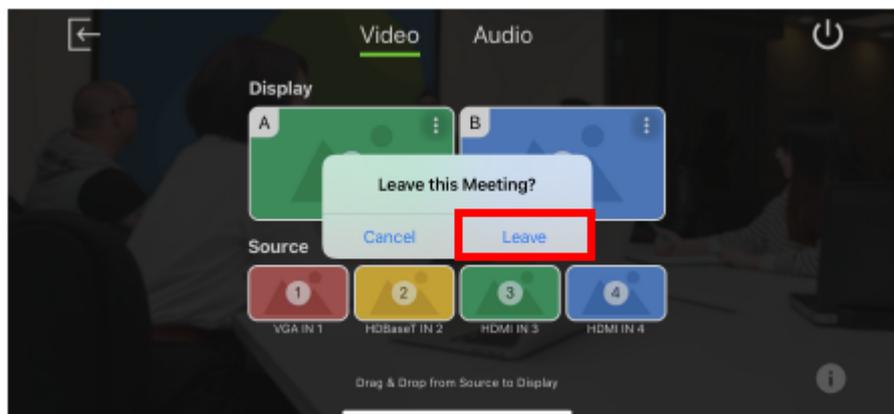
会議からの退室

コントロールパネルから退室するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



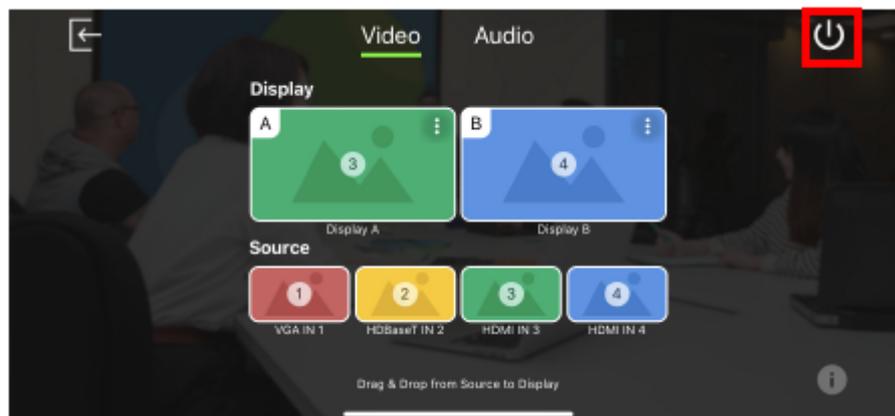
2. 警告メッセージが表示されたら、「Leave」(退室)をタップしてください。



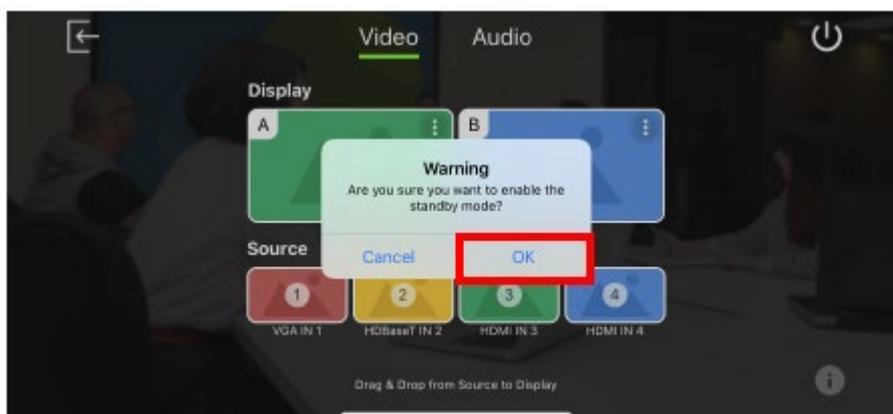
スタンバイモードの有効化

スタンバイモードを有効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



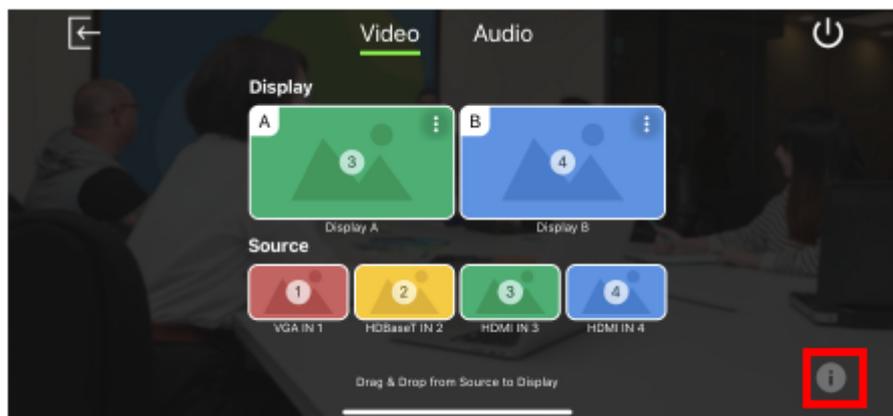
2. 警告メッセージが表示されたら、「OK」をタップしてください。



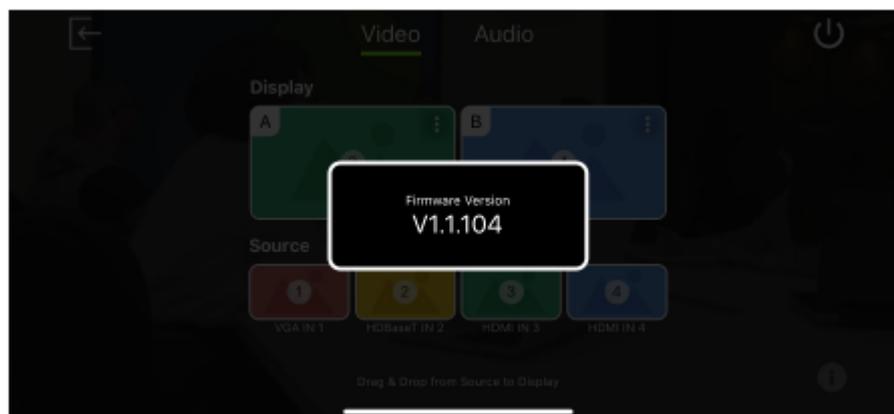
ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従って操作を行ってください。

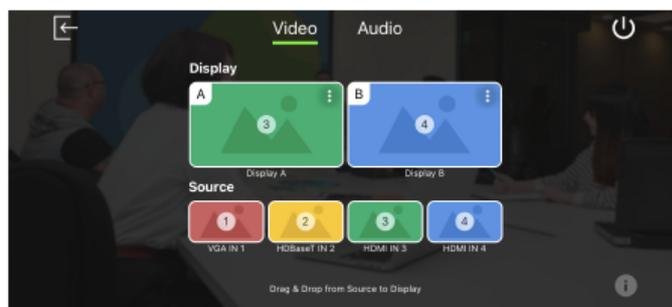
1. メイン画面で、を押してください。



2. 下図のような画面が表示されます。



ビデオパネル



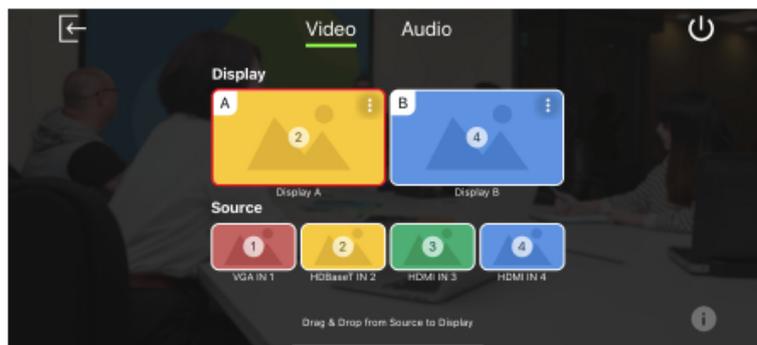
ディスプレイに対するソースの切替

ディスプレイに対してソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ソース2をディスプレイAに切り替えるには、ディスプレイの画面からソースをディスプレイAにドラッグしてください。



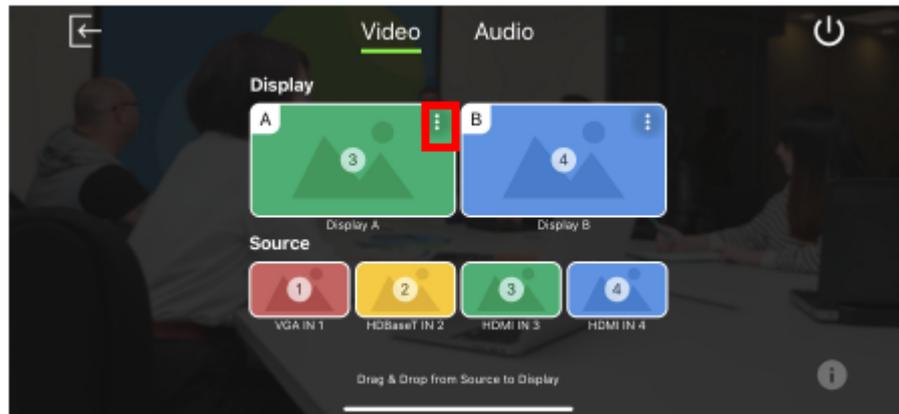
2. この操作で、ディスプレイAがソース2のコンテンツを表示するようになります。



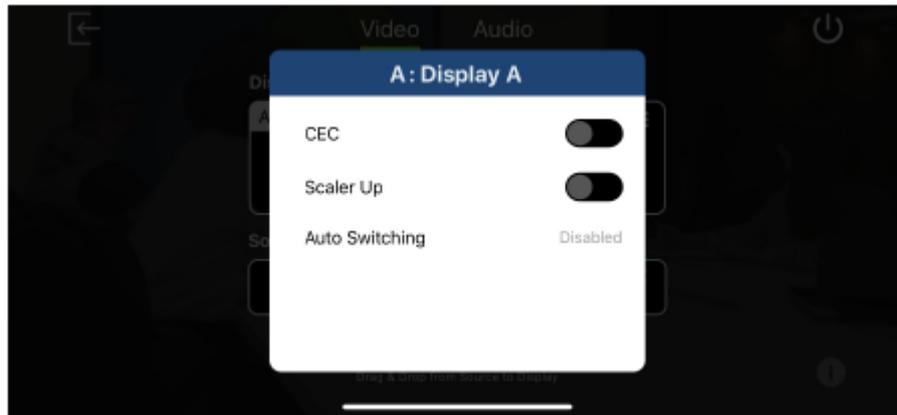
ディスプレイ A の設定

ディスプレイ A に対して表示設定を行うには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ディスプレイ A の右上にある  マークをタップしてください。



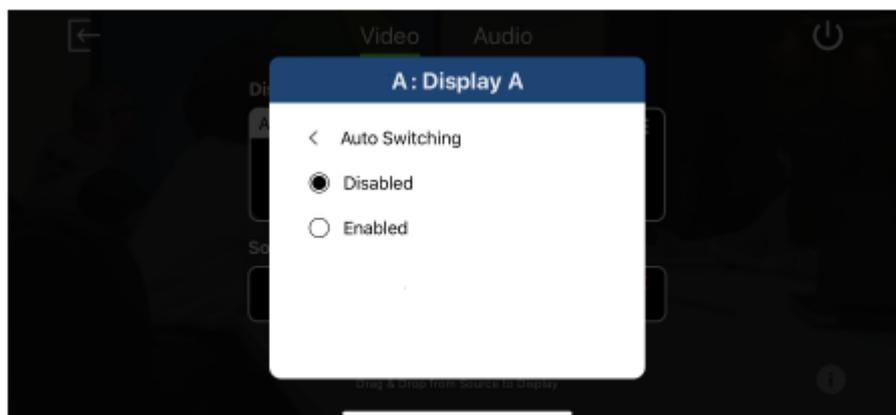
2. 下図のような画面が表示されます。



ツール	説明
CEC	この項目をタップすると、CEC 機能を有効または無効に切り替えます。CEC (Consumer Electronics Control) は、相互接続された HDMI デバイスを 1 台のリモコンで操作できるようにする業界標準規格です。この設定は、デフォルトで有効になっています。
Scaler Up (アップスケーリング)	この項目をタップすると、アップスケーリング機能を有効または無効に切り替えます。この機能を有効にすると、解像度 1080p のソースを 4K へと自動的にアップスケーリングします。サポートされるアップスケーリング解像度については、p.111「製品仕様」を参照してください。
Auto Switching (自動切替)	ディスプレイ A を新規検出ソースへと自動的に切り替えます。

自動切替

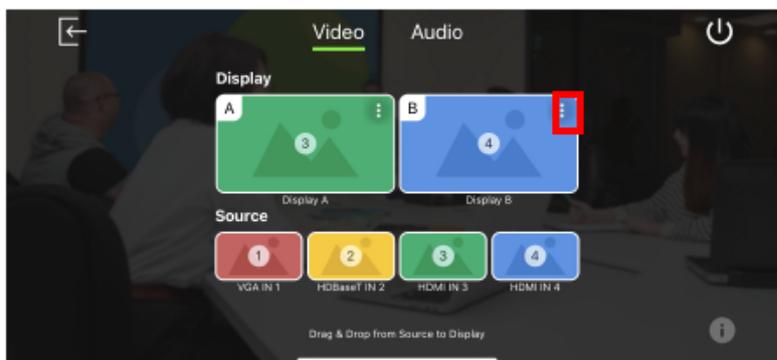
新規に検出されたソースに自動で切り替える機能を有効または無効にするには、「Auto Switching」(自動切替)をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



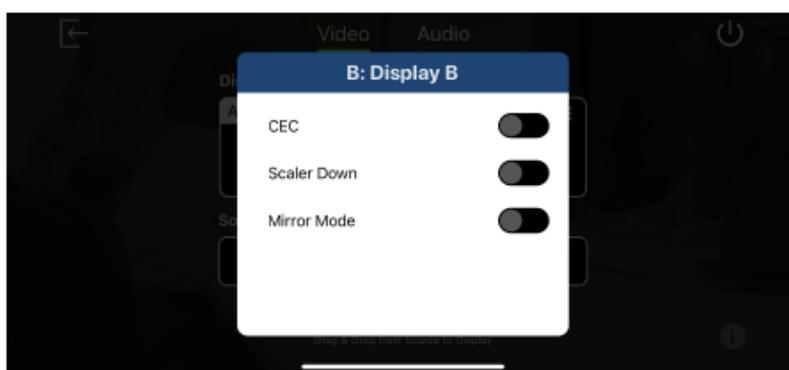
ディスプレイ B の設定

ディスプレイ B に対して表示設定を行うには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ディスプレイ B の右上にある  マークをタップしてください。

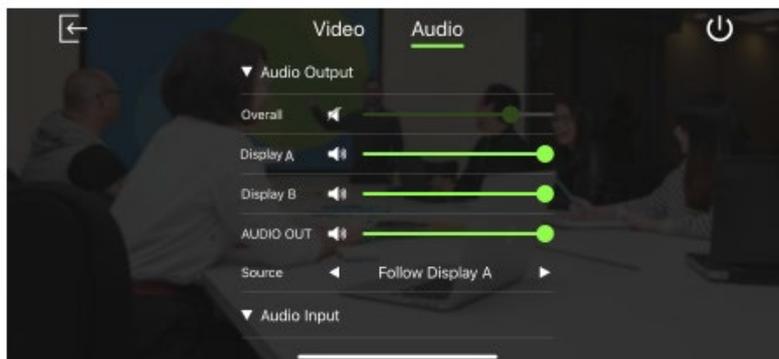


2. 下図のような画面が表示されます。



ツール	説明
CEC	この項目をタップすると、CEC 機能を有効または無効に切り替えます。CEC (Consumer Electronics Control) は、相互接続された HDMI デバイスを 1 台のリモコンで操作できるようにする業界標準規格です。この設定は、デフォルトで有効になっています。
Scaler Down (ダウンスケーリング)	この項目をタップすると、ダウンスケーリング機能を有効または無効に切り替えます。この機能を有効にすると、4K 解像度のソースを 1080p へと自動的にダウンスケーリングします。サポートされるダウンスケーリング解像度については、p.111「製品仕様」を参照してください。
Mirror Mode (ミラーモード)	この項目をタップすると、ミラーモードを有効または無効に切り替えます。ミラーモードでは、ディスプレイ B にはディスプレイ A に割り当てられているものと同一コンテンツが表示されます。

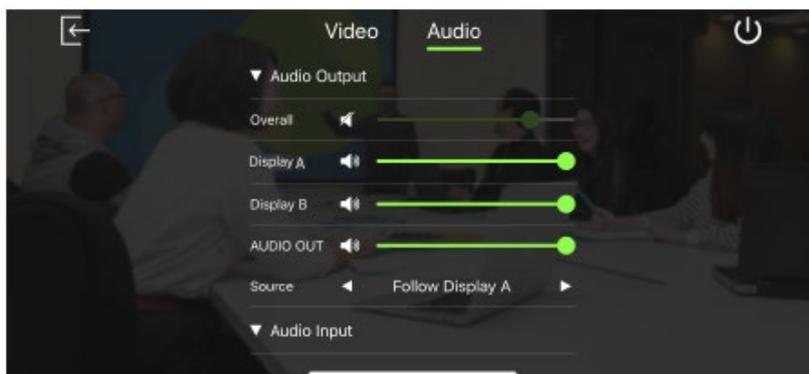
オーディオパネル



VP1420 のオーディオ出力設定



VP1421 のオーディオ出力設定

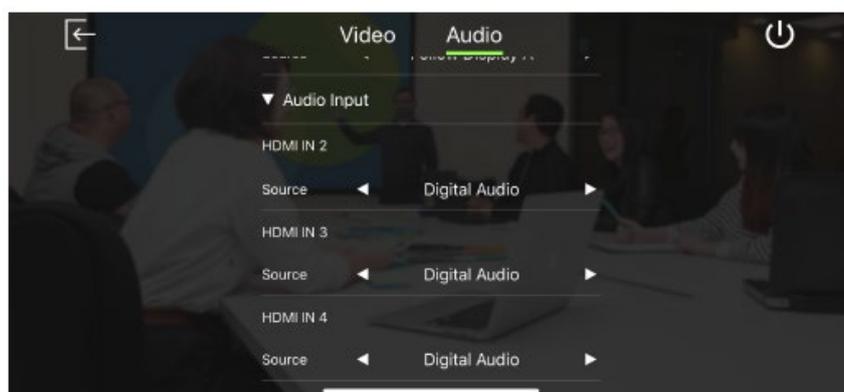


システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Output (オーディオ出力)	Overall (全体)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421:VP1421 に接続されたスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display A (ディスプレイ A)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ A のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421:VP1421 に接続されたディスプレイ A のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display B (ディスプレイ B)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ B のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421:VP1421 に接続されたディスプレイ B のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

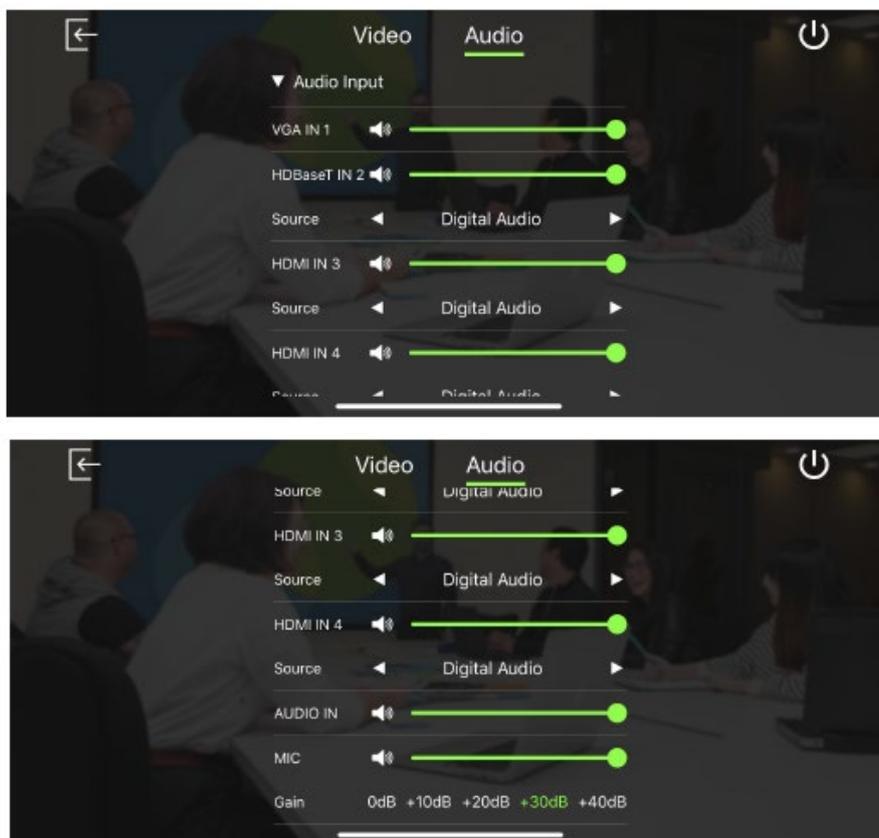
(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	AUDIO OUT (オーディオ出力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Follow Display A (ディスプレイ A に従う) ◆ Follow Display B (ディスプレイ B に従う) ◆ Audio In (オーディオ入力) 	VP1420/VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーに対してオーディオソースを設定します。

VP1420 のオーディオ入力設定



VP1421 のオーディオ入力設定



システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ入力)	VGA IN 1 (VGA 入力 1)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された VGA ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	HDBaseT IN 2 (HDBaseT 入力 2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDBaseT ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタルオーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッドオーディオ入力) 	<p>【VP1421のみ】VP1421に接続されたHDBaseTソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	HDMI IN 2 (HDMI入力2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1420のみ】VP1420に接続されたHDMI 2ソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタルオーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッドオーディオ入力) 	<p>【VP1420のみ】VP1420に接続されたHDMI 2ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	HDMI IN 3 (HDMI 入力 3)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 3 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	【VP1420/VP1421 共通】 VP1420/VP1421 に接続された HDMI 3 ソースに対してオーディオソースを設定します。 ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「 Digital Audio 」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「 Embedded Audio In 」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
	HDMI IN 4 (HDMI 入力 4)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 4 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

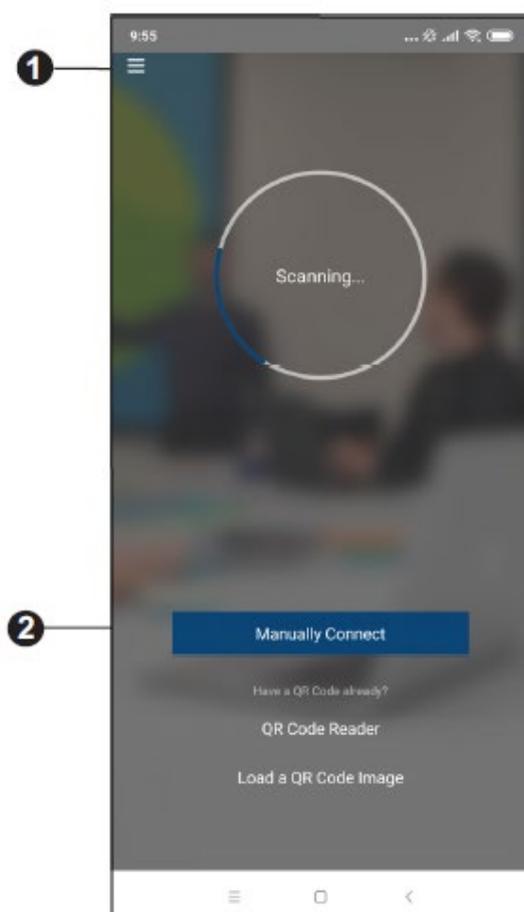
(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタルオーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッドオーディオ入力) 	<p>【VP1420/VP1421 共通】</p> <p>VP1420/VP1421 に接続された HDMI 4 ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	AUDIO IN (オーディオ入力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のオーディオ入力ポートに接続された個別のオーディオソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	MIC (マイク)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のマイク入力ポートに接続されたマイクのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Gain (ゲイン)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ +0dB ◆ +10dB ◆ +20dB ◆ +30dB 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 に接続されたマイクのゲインを設定します。</p>

Android 版

メイン画面

ATEN ビデオ制御アプリにログインすると、デフォルトでスキャン画面に遷移します。各タブの機能概要については、下表を参照してください。



No.	名称	説明
1	情報 	このアイコンをタップすると、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。
2	Manually Connect (手動接続)	このアイコンをタップすると、IP アドレスとパスワードを入力して、コントロールパネルに手動接続し、ログインします。

注意: QR コードリーダーおよび QR コードイメージの読み込み機能は、VP1420/VP1421 に搭載されていません。

情報

次の画面は、情報画面の外観です。ここでは、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。「**Contact us**」(お問い合わせ)をタップすると、ATEN 公式 Web サイトに接続します。



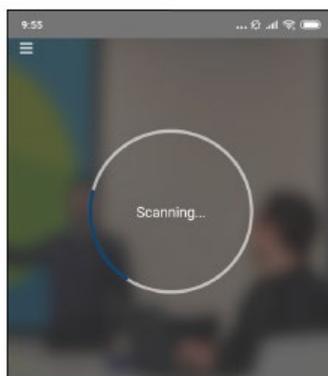
コントロールパネルへのログイン

VP1420/VP1421 で ATEN ビデオプレゼン制御アプリを介してコントロールパネルにログインするには3つの方法があります。アプリが開いている場合、アクセスできるデバイスや利用可能な部屋を自動的にスキャンします。あるいは、IP アドレスとパスワードを手入力して、コントロールパネルにログインすることもできます。いずれの方法についても、次のセクションから説明していきます。

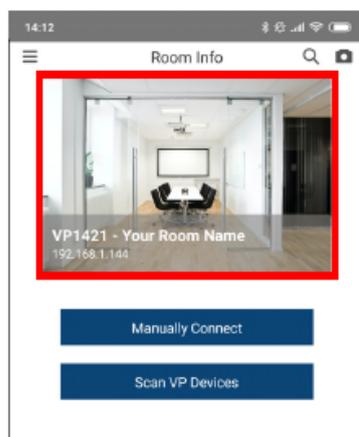
コントロールパネルに自動ログインするには

自動スキャンを行ってコントロールパネルに自動ログインするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、スキャン処理が完了するまでお待ちください。

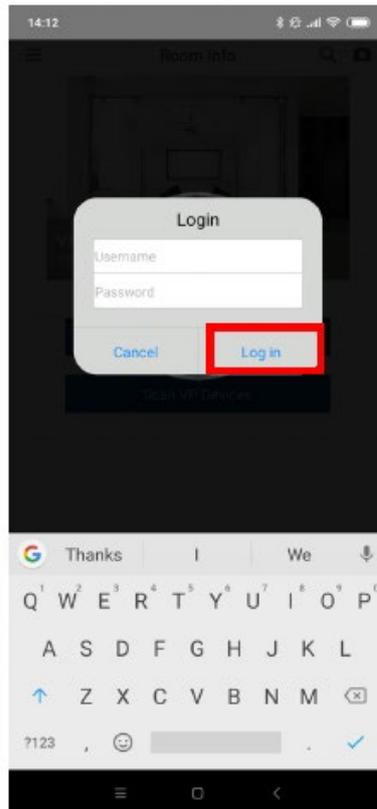


2. スキャンが完了すると、「Room List」(部屋一覧)画面が表示されます。部屋をタップしてコントロールパネルにログインしてください。

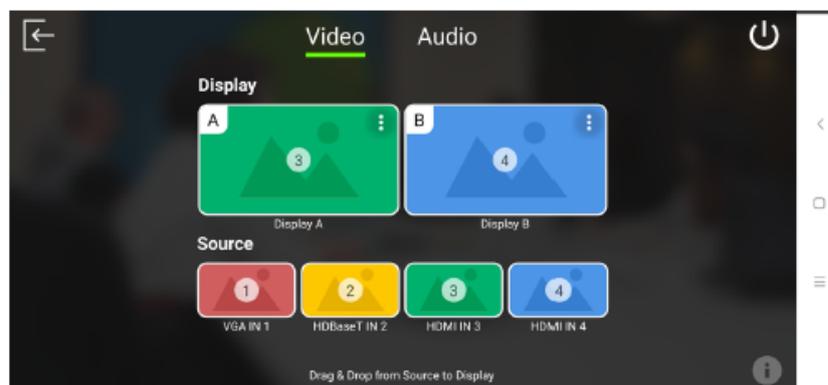


3. ユーザー名とパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティ上の理由から、VP1420/VP1421 の Web コンソールに対して初めてログインする際に、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



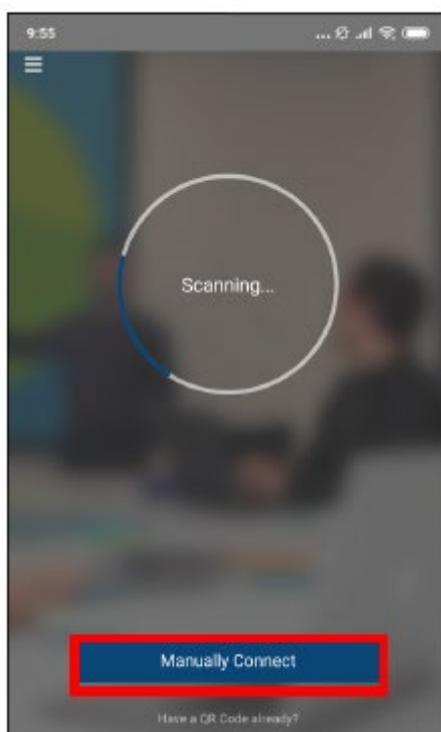
4. これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。



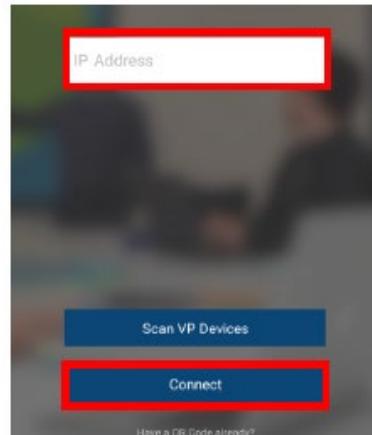
コントロールパネルに手動接続でログインするには

手動で接続してコントロールパネルにログインするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。

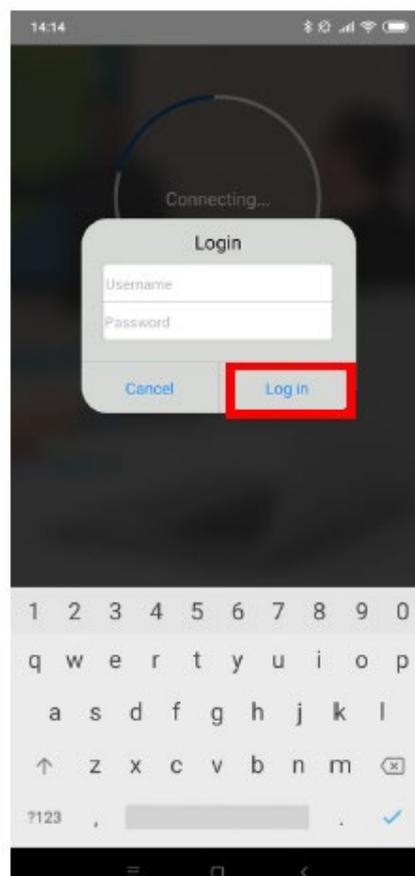


2. VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「Connect」(接続)をタップしてください。



3. ユーザーネームとパスワードを入力したら、「Login」(ログイン)をタップしてください。

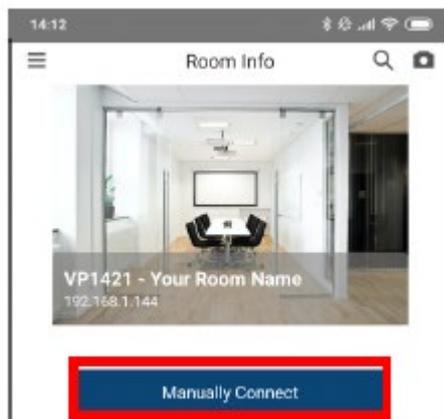
注意: セキュリティ上の理由から、VP1420/VP1421 の Web コンソールに対して初めてログインする際に、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。



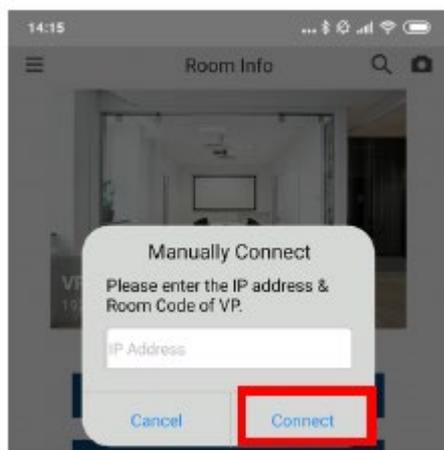
- これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。

または

- 「Room List」(部屋一覧)画面から「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。

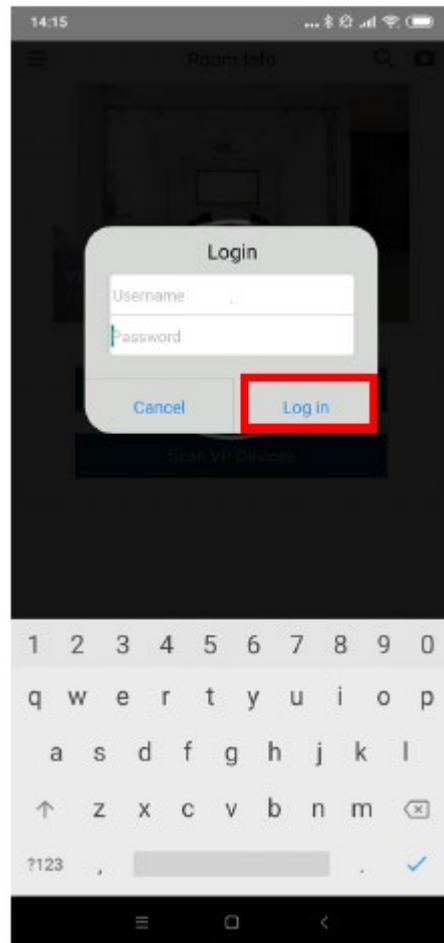


- VP1420/VP1421 の IP アドレスを入力し、「**Connect**」(接続)をタップしてください。



- ユーザーネームとパスワードを入力したら、「**Login**」(ログイン)をタップしてください。

注意: セキュリティ上の理由から、VP1420/VP1421 の Web コンソールに対して初めてログインする際に、パスワードの変更が求められます。詳細については、p.47「全般設定」を参照してください。

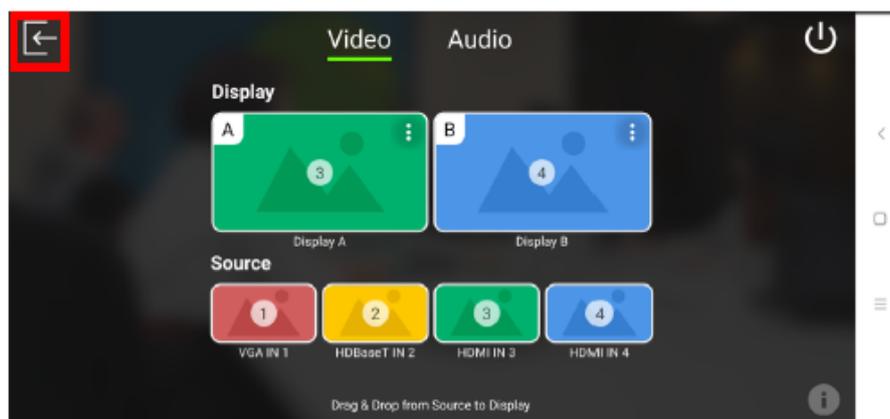


8. これで、正常にコントロールパネルへとログインできたことになります。

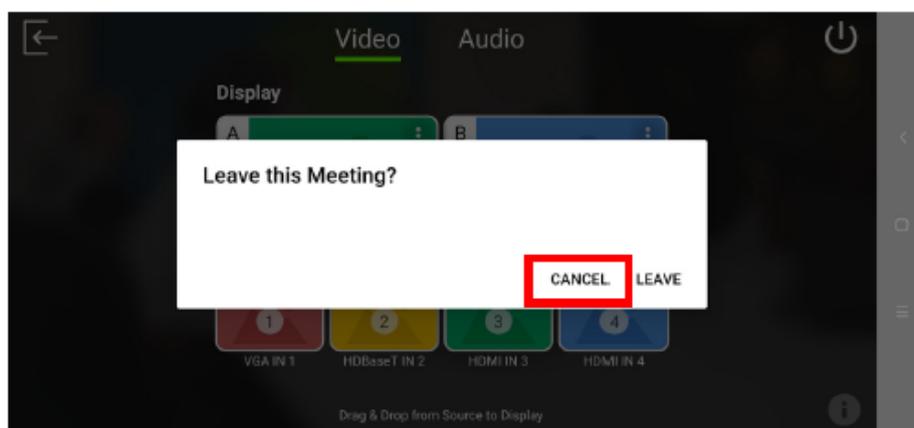
会議からの退室

コントロールパネルから退室するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



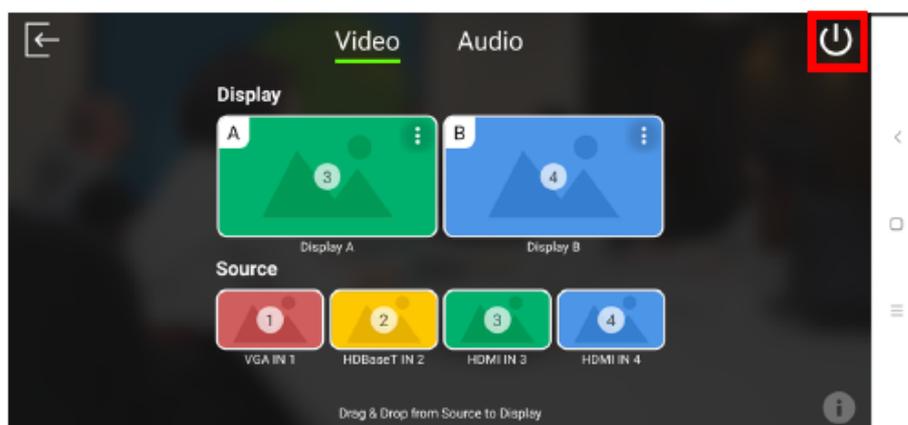
2. 警告メッセージが表示されたら、「Leave」(退室)をタップしてください。



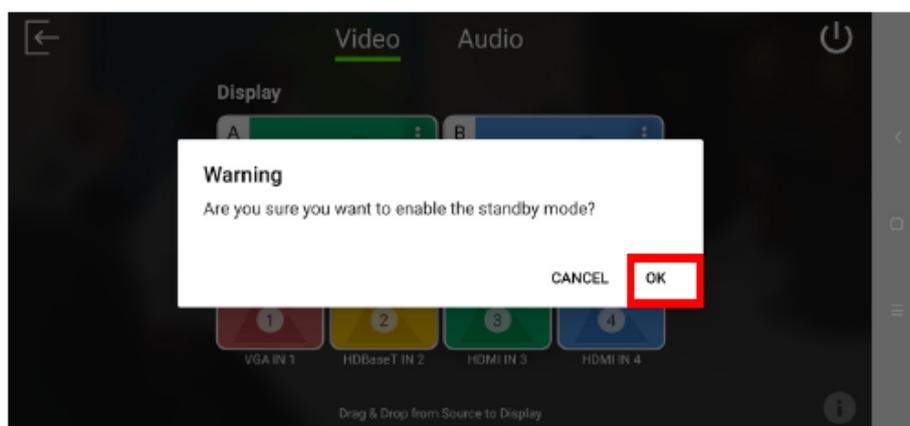
スタンバイモードの有効化

スタンバイモードを有効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. メイン画面で、を押してください。



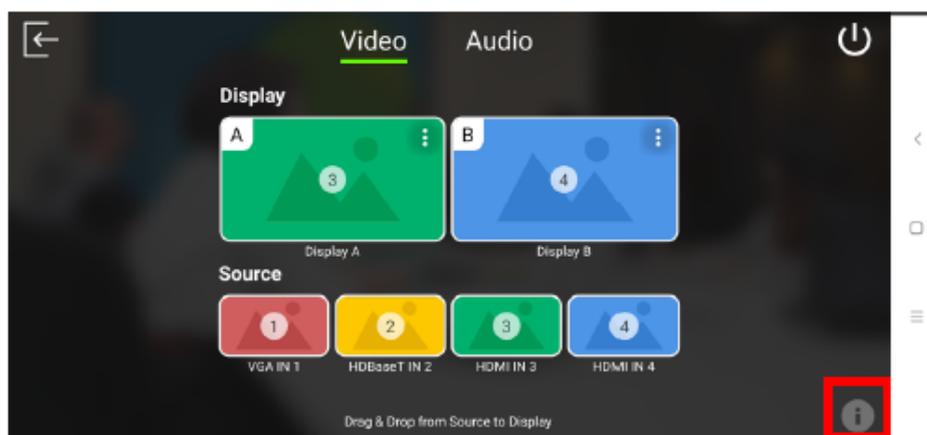
2. 警告メッセージが表示されたら、「OK」をタップしてください。



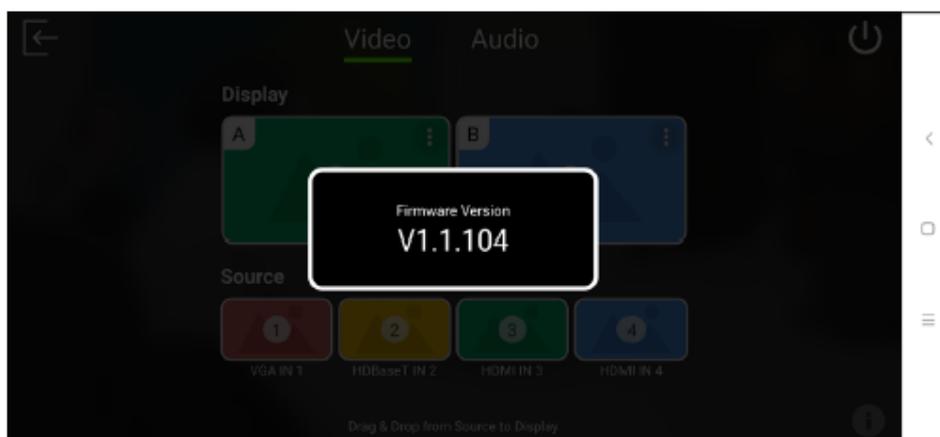
ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従って操作を行ってください。

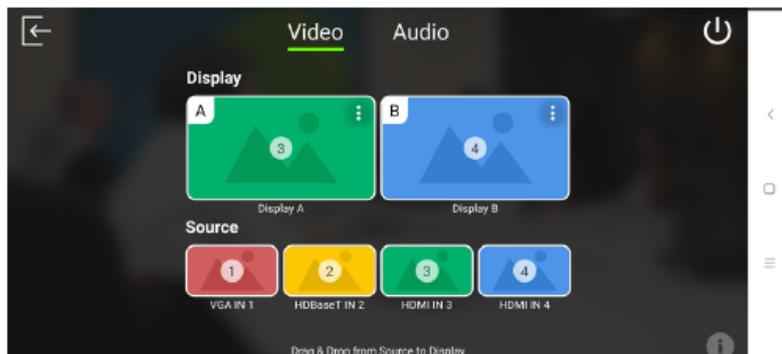
1. メイン画面で、を押してください。



2. 下図のような画面が表示されます。



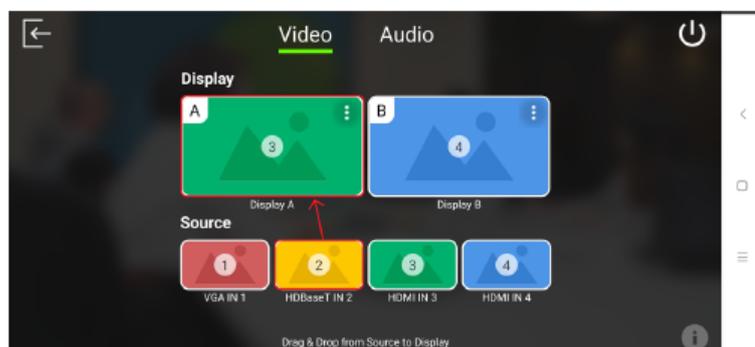
ビデオパネル



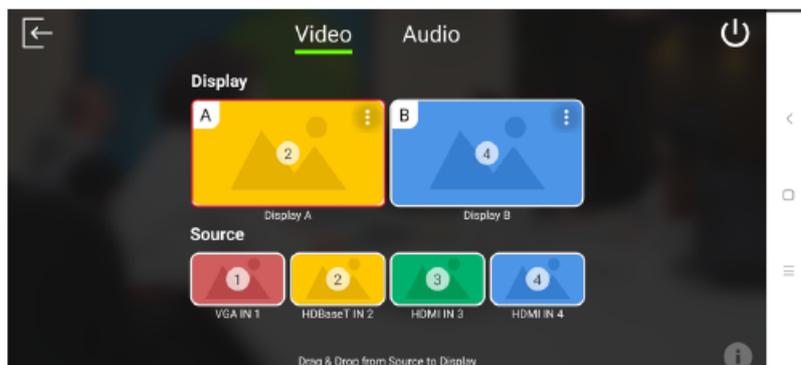
ディスプレイに対するソースの切替

ディスプレイに対してソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ソース2をディスプレイAに切り替えるには、ディスプレイの画面からソースをディスプレイAにドラッグしてください。



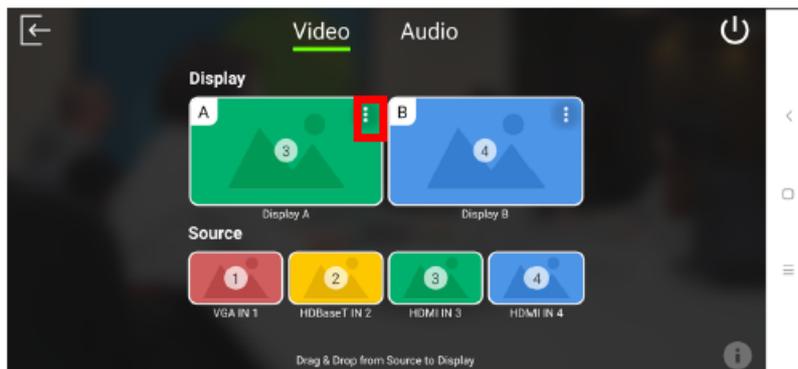
2. この操作で、ディスプレイAがソース2のコンテンツを表示するようになります。



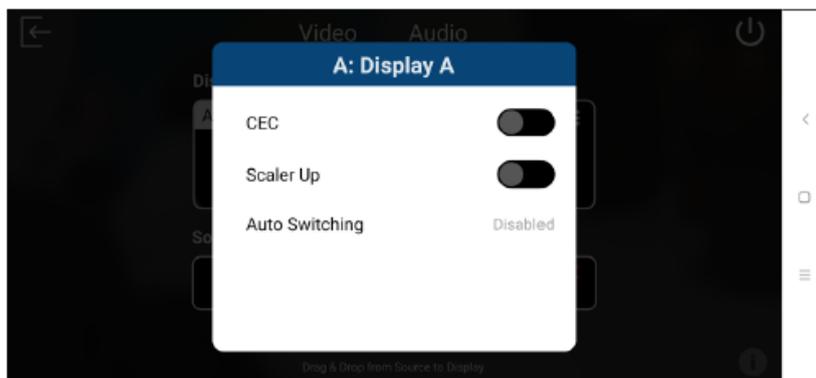
ディスプレイ A の設定

ディスプレイ A に対して表示設定を行うには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ディスプレイ A の右上にある  マークをタップしてください。



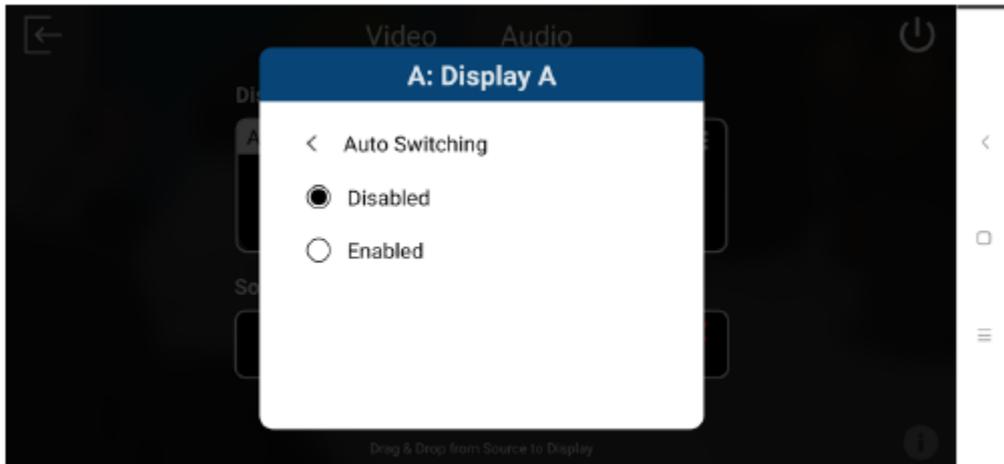
2. 下図のような画面が表示されます。



ツール	説明
CEC	この項目をタップすると、CEC 機能を有効または無効に切り替えます。CEC (Consumer Electronics Control) は、相互接続された HDMI デバイスを 1 台のリモコンで操作できるようにする業界標準規格です。この設定は、デフォルトで有効になっています。
Scaler Up (アップスケーリング)	この項目をタップすると、アップスケーリング機能を有効または無効に切り替えます。この機能を有効にすると、解像度 1080p のソースを 4K へと自動的にアップスケーリングします。サポートされるアップスケーリング解像度については、p.111「製品仕様」を参照してください。
Auto Switching (自動切替)	ディスプレイ A を新規検出ソースへと自動的に切り替えます。

自動切替

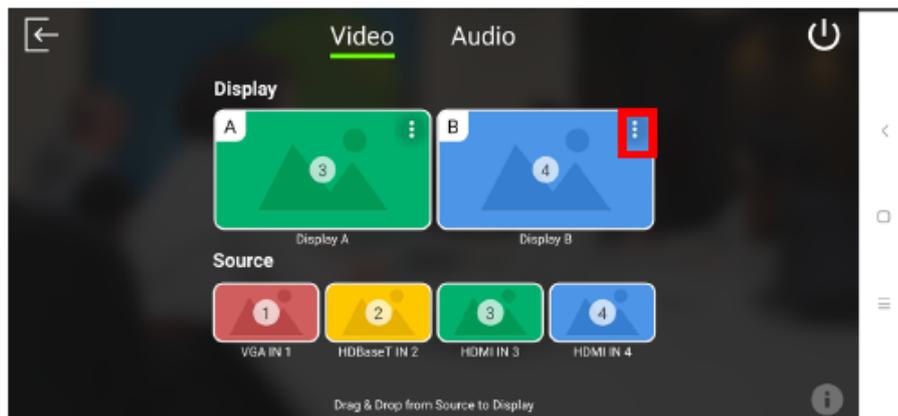
新規に検出されたソースに自動で切り替える機能を有効または無効にするには、「Auto Switching」(自動切替)をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



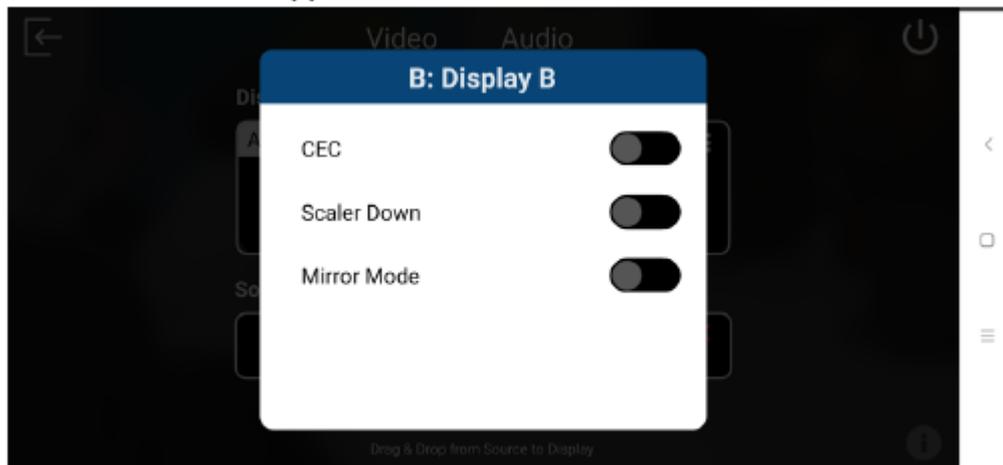
ディスプレイ B の設定

ディスプレイ B に対して表示設定を行うには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ディスプレイ B の右上にある  マークをタップしてください。

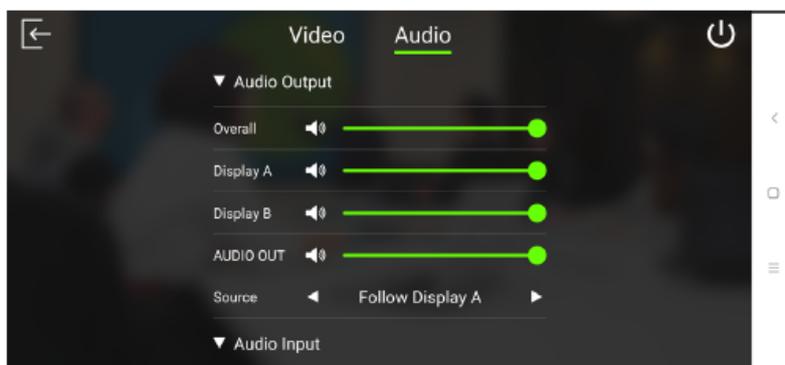


2. 下図のような画面が表示されます。

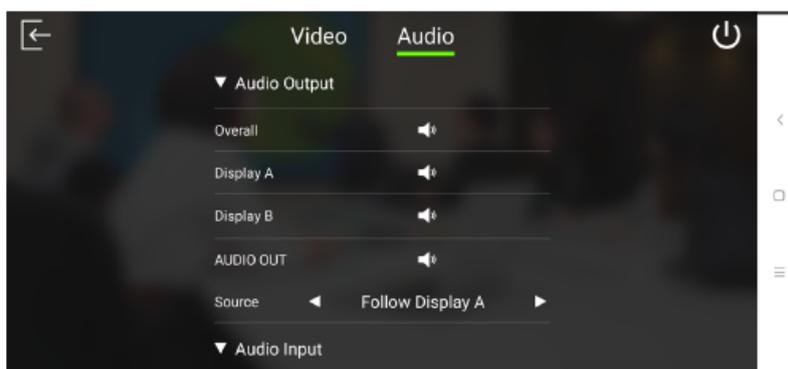


ツール	説明
CEC	この項目をタップすると、CEC 機能を有効または無効に切り替えます。CEC (Consumer Electronics Control) は、相互接続された HDMI デバイスを 1 台のリモコンで操作できるようにする業界標準規格です。この設定は、デフォルトで有効になっています。
Scaler Down (ダウンスケーリング)	この項目をタップすると、ダウンスケーリング機能を有効または無効に切り替えます。この機能を有効にすると、4K 解像度のソースを 1080p へと自動的にダウンスケーリングします。サポートされるダウンスケーリング解像度については、p.111「製品仕様」を参照してください。
Mirror Mode (ミラーモード)	この項目をタップすると、ミラーモードを有効または無効に切り替えます。ミラーモードでは、ディスプレイ B にはディスプレイ A に割り当てられているものと同一コンテンツが表示されます。

オーディオパネル



VP1420 のオーディオ出力設定



VP1421 のオーディオ出力設定

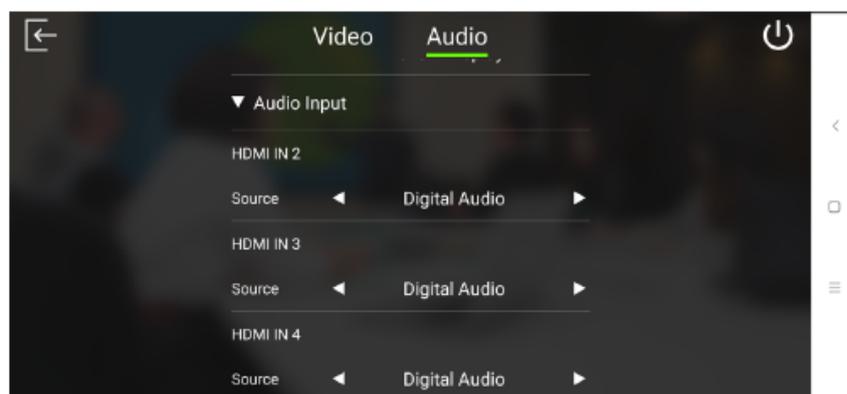


システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Output (オーディオ出力)	Overall (全体)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421:VP1421 に接続されたスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display A (ディスプレイ A)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ A のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421:VP1421 に接続されたディスプレイ A のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Display B (ディスプレイ B)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 に接続されたディスプレイ B のボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421:VP1421 に接続されたディスプレイ B のボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

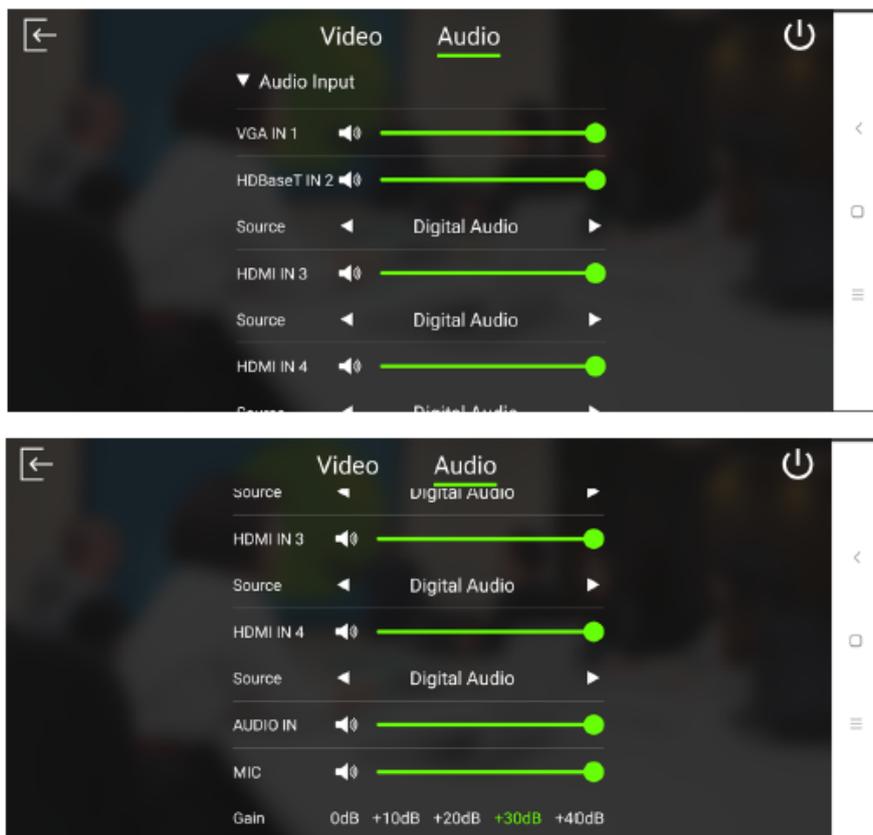
(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	AUDIO OUT (オーディオ出力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ VP1420:  をタップすると、VP1420 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームをミュート/ミュート解除します。 ◆ VP1421: VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Follow Display A (ディスプレイ A に従う) ◆ Follow Display B (ディスプレイ B に従う) ◆ Audio In (オーディオ入力) 	VP1420/VP1421 のオーディオ出力ポートに接続された個別のスピーカーに対してオーディオソースを設定します。

VP1420 のオーディオ入力設定



VP1421 のオーディオ入力設定



システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio Input (オーディオ入力)	VGA IN 1 (VGA 入力 1)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された VGA ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	HDBaseT IN 2 (HDBaseT 入力 2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDBaseT ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタルオーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッドオーディオ入力) 	<p>【VP1421のみ】VP1421に接続されたHDBaseTソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	HDMI IN 2 (HDMI入力2)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1420のみ】VP1420に接続されたHDMI 2ソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタルオーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッドオーディオ入力) 	<p>【VP1420のみ】VP1420に接続されたHDMI 2ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	HDMI IN 3 (HDMI 入力 3)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 3 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。
	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタル オーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッド オーディオ入力) 	【VP1420/VP1421 共通】 VP1420/VP1421 に接続された HDMI 3 ソースに対してオーディオソースを設定します。 ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「 Digital Audio 」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「 Embedded Audio In 」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。
	HDMI IN 4 (HDMI 入力 4)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	【VP1421 のみ】VP1421 に接続された HDMI 4 ソースのボリュームを設定します。また、  をタップすると、ミュート/ミュート解除します。

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	Source (ソース)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Digital Audio (デジタルオーディオ) ◆ Embedded Audio In (エンベデッドオーディオ入力) 	<p>【VP1420/VP1421 共通】</p> <p>VP1420/VP1421 に接続された HDMI 4 ソースに対してオーディオソースを設定します。</p> <p>ビデオと同じオーディオソースを使用する場合は、「Digital Audio」(デジタルオーディオ)を選択してください。また、(オーディオ入力ポートに接続された)個別のオーディオソースの音声を出力する場合は、「Embedded Audio In」(エンベデッドオーディオ入力)を選択してください。</p>
	AUDIO IN (オーディオ入力)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のオーディオ入力ポートに接続された個別のオーディオソースのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	MIC (マイク)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 のマイク入力ポートに接続されたマイクのボリュームを設定します。また、 をタップすると、ミュート/ミュート解除します。</p>
	Gain (ゲイン)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ +0dB ◆ +10dB ◆ +20dB ◆ +30dB 	<p>【VP1421 のみ】VP1421 に接続されたマイクのゲインを設定します。</p>

付録

製品仕様

VP1420

機能	VP1420
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×3 (Black) D-sub15 ピン メス×1 (Blue)
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) :3m 4K@30Hz :10m 1080p@60Hz :15m VGA - 1080p@60Hz :15m
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×2 (Black)
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) :3m 4K@30Hz :10m 1080p@60Hz :15m
ビデオ	
最大解像度	HDMI:最大 4096×2160 / 3840×2160@60Hz (4:4:4) VGA:最大 1080p@60Hz
規格準拠	HDMI (3D、Deep Color、4K)、4K HDR HDCP 2.2 準拠、CEC
オーディオ	
入力	ステレオオーディオ (VGA) :ステレオミニジャック メス×1 (Green) ステレオオーディオ (HDMI) :ステレオミニジャック メス×1 (Green)
出力	ライン出力 (アンバランス) :3 極着脱式ターミナルブロック×1
制御	
RS-232	3 極着脱式ターミナルブロック×1
IR	ステレオミニジャック メス×1 (Black)

(表は次のページに続きます)

機能	VP1420
イーサネット	RJ-45 メス×1 (Silver)
コンタクト入力	5 極着脱式ターミナルブロック×1
LED 出力	5 極着脱式ターミナルブロック×1 LED 出力電源:+5 VDC、0.2A
スイッチ	
電源	プッシュボタン×1 (LED:Green / Orange)
ビデオ入力ポート選択	プッシュボタン×4 (LED:Green)
ビデオ出力ポート選択	プッシュボタン×2 (LED:Orange)
選択	ミュート:プッシュボタン×1 モード/解除:プッシュボタン×1
EDID 設定	EDID モード:デフォルト / ポート 1 / リミックス
コネクタ	
電源	DC ジャック×1 (Black)
消費電力	DC5V:7.21W
動作環境	
動作温度	0~40℃
保管温度	-20~60℃
湿度	0~80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	1.09 kg
サイズ(W×D×H)	200×160.5×44 mm
同梱品	VPK104×1 IR リモコン×1 3 極ターミナルブロック×2 5 極ターミナルブロック×2 電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1

VP1421

機能	VP1421
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×2 (Black) D-sub15 ピン メス×1 (Blue) HDBaseT (RJ-45) メス×1 (Silver) ※PoH 選択可能
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) :3m 4K@30Hz:10m 1080p@60Hz:15m VGA - 1080p@60Hz:15m HDBaseT - 4K@30Hz:35m (Cat 5e/6) / 40m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6) 1080p@60Hz:60m (Cat 5e/6) / 70m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6)
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×1 (Black) HDBaseT (RJ-45) メス×1 (Silver) ※PoH 選択可能
最大距離	HDMI - 4K@60Hz (4:4:4) :3m 4K@30Hz:10m 1080p@60Hz:15m HDBaseT - 4K@30Hz:35m (Cat 5e/6) / 40m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6) 1080p@60Hz:60m (Cat 5e/6) / 70m (Cat 6a/ATEN 2L-2910 Cat6)
ビデオ	
最大解像度	HDMI:最大 4096×2160 / 3840×2160@60Hz (4:4:4) VGA:最大 1080p@60Hz:15m HDBaseT:最大 4096×2160 / 3840×2160@60Hz (4:2:0) 最大 4096×2160 / 3840×2160@30Hz (4:4:4)
規格準拠	HDMI (3D、Deep Color、4K)、4K HDR HDCP 2.2 準拠、CEC

(表は次のページに続きます)

機能	VP1421
オーディオ	
入力	ステレオオーディオ (HDMI/HDBT) :ステレオミニジャック メス×1 (Green) ステレオオーディオ (VGA) :ステレオミニジャック メス×1 (Green) マイク:6.3mm ジャックコネクタ (ファンタム電源選択可能) ×1
出力	ライン出力 (アンバランス) :3 極着脱式ターミナルブロック×1 光オーディオ:Toslink×1 (Black)
制御	
RS-232	3 極着脱式ターミナルブロック×1
IR	ステレオミニジャック メス×1 (Black)
イーサネット	RJ-45 メス×1 (Silver)
コンタクト入力	5 極着脱式ターミナルブロック×1
LED 出力	5 極着脱式ターミナルブロック×1 LED 出力電源:+5 VDC、0.2A
IR チャンネル	HDBaseT 入力:ステレオミニジャック メス×1 (Black) HDBaseT 出力:ステレオミニジャック メス×1 (Black)
RS-232 チャンネル	HDBaseT 入力:3 極着脱式ターミナルブロック×1 HDBaseT 出力:3 極着脱式ターミナルブロック×1
スイッチ	
電源	プッシュボタン×1 (LED:Green / Orange) スライドスイッチ×1 (+48V ファンタム電源) スライドスイッチ×1 (PoH)
ビデオ入力ポート選択	プッシュボタン×4 (LED:Green)
ビデオ出力ポート選択	プッシュボタン×2 (LED:Orange)
選択	マイク:調整ツマミ×1 ボリューム:調整ツマミ×1 モード/解除:プッシュボタン×1
EDID 設定	EDID モード:デフォルト / ポート1 / リミックス

(表は次のページに続きます)

機能	VP1421
コネクタ	
電源	DC ジャック×1 (Black)
消費電力	DC12V:14.93W
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	1.16 kg
サイズ(W×D×H)	200×170.1×44 mm
同梱品	VPK104×1 IRリモコン×1 3 極ターミナルブロック×4 5 極ターミナルブロック×2 電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1